

湘南中央病院 年報

第 25 号
(2024 年度版)



2025 年 10 月



湘南わかばグループ
(特定医療法人社団若林会)

湘南中央病院 年報（2024 年度）

目次

基本理念・基本方針	3
患者さんの権利	4
湘南わかばグループ職員の倫理綱領	5
院長のこたば	6
病院長 池田全良	

第 1 部 湘南中央病院

1 病院紹介	9
2 医療法人社団若林会の沿革と組織	11
1 沿革	
2 組織図	
3 職員の状況	13
4 湘南中央病院の診療活動	14
1 新患地区別統計	
2 年齢別外来延べ患者数	
3 外来患者各科別統計・紹介患者統計	
4 病棟別退院患者統計	
5 手術件数	
6 透析センター患者状況	
7 医療安全・インシデントアクシデントレポート分析	
8 施設基準届出一覧	
9 提携医療機関	
5 診療部	23
1 診療部概要	
2 各診療科紹介	
6 看護部	30
1 看護部報告	
2 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度	
3 3 階 回復期リハビリテーション病棟	
4 4 階 急性期病棟	
5 5 階 地域包括ケア病棟	
6 6 階 療養病棟	
7 7 階 緩和ケア病棟	
8 外来	
9 手術・中央材料室	
10 透析センター	
11 ボランティア室	
12 看護部教育担当	
13 看護部主催会議・委員会	
14 湘南わかばグループ・看護部 その他の実績	
7 診療技術部	39
1 薬局	
2 放射線課	
3 臨床工学課	
4 臨床検査課	
5 内視鏡室	
6 リハビリテーションセンター	
7 栄養管理室	

8	健康管理センター	-----	43
9	事務部	-----	44
	1	医事課	
	2	総務課	
	3	人事・広報課	
	4	営業推進室	
	5	IT 推進室	
10	診療支援部門	-----	46
	1	診療情報管理室	
	2	地域医療連携室 / 患者・家族相談室	
	3	医療安全管理室	
11	わかば保育園	-----	49

第2部 湘南わかばグループ 施設紹介

1	わかば訪問看護ステーション	-----	53
2	若林会居宅介護支援事業所	-----	54
3	藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）	-----	55
4	介護老人保健施設 湘南わかば苑	-----	56

第3部 法人活動

1	定例会議・委員会	-----	63
2	研究実践実績	-----	64
3	中堅幹部職員研修会	-----	65
4	実習生受け入れ状況	-----	65
5	湘南わかばグループ年間行事	-----	66
6	湘南わかばグループの地域活動	-----	66
7	施設案内	-----	67
	年報編集委員	-----	70

[基本理念]

地域の人々とともに歩み
健康を守り良質な医療と介護を提供します

[基本方針]

いつでも受けられる医療・介護

地域に出る医療・介護

包括的な医療・介護

納得ずくの医療・介護

患者さんの権利

1. 患者さんには、良質な医療を公平に受ける権利があります
2. 患者さんには、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります
3. 患者さんには、治療法などをご自分の意思で選ぶ権利があります
4. 患者さんには、治療法などについて他の医師に相談する権利があります
5. 患者さんには、ご自分の診療記録の開示を求める権利があります
6. 患者さんには、ご自分の個人情報の秘密が守られる権利があります

湘南わかばグループ職員の倫理綱領

何よりもまず、私たちは、人々の人間としての尊厳と一人ひとりの価値観を尊重します。

そして私たちグループの「理念」「基本方針」の実践にあたり、以下のことを誓います。

1. 私たちは、医療・介護において最高の水準を保つべく学術的研鑽と人格の涵養に常に努め、また良質な医療・介護の継続のため、後輩の育成に努めます。
2. 私たちは、個人の人格を尊重し、思想・信条・社会的地位・性別その他さまざまな違いがあっても、対象となる人々に平等に医療・介護を提供します。
3. 私たちは、職務上知り得た個人の秘密を守ります。
4. 私たちは、医療及び介護のあらゆる局面において人々の安全の確保に努めます。
5. 私たちは、互いに他職種の人々を尊敬し、協力し合って職務の遂行に努めます。
6. 私たちは、医療・介護の公共性を重んじ、法規範を遵守し、人道にそった行動と言動に努めます。
7. 私たちは、不当な報酬を求めません。

院長のこゝば

2024 年度年報によせて

院長 池田 全良

当法人の地域医療への取り組みを“年報”としてお届けする運びとなりましたことを大変喜ばしく感じます。今年度も編集委員をはじめとして刊行の編集に携わって頂きました関係各位のご努力に深く感謝いたします。

平素から当院をご利用頂いております地域の方々には感謝申し上げます。また、常日頃から当院との連携でお世話になっております医療関係の皆様にはお礼申し上げます。

さて、2024 年度は新型コロナウイルス感染症が感染症法上、「2 類相当」からインフルエンザ相当の「5 類」へと危険レベルが引き下げた“コロナ明け”の 2 年目になりました。入院する患者さんに行っていた Covid-19 の抗原検査の煩わしさからは少し解放されました。コロナ禍においては減少傾向であった外来の患者数、救急患者の受け入れ状況、病床の利用率が徐々に回復してくるであろうと期待しておりました。しかしながら 1 年を通しての病院全体の医療活動は 2019 年以前の状況には及んでいないのが現状です。それには患者サイドの受診控えの様なものがあるのかも知れません。また、当院の課題として病院スタッフが充足されていないことも病床がフル稼働できない要因でした。

患者さんから選ばれる病院でありたいことは当然ですが、看護スタッフ・リハビリスタッフや放射線・臨床検査のスタッフ・事務職員からも選ばれる魅力的な病院であることを願います。

2025 年 1 月からは 4 階の急性期病棟の入院料を“地域包括医療病棟入院料”で算定することになりました。これは当院で対応している高齢者救急の入院治療が過去の急性期病棟の入院患者に関する入院日数や在宅復帰などの実績を踏まえて“地域包括医療病棟”としての入院料算定に適応していると判断したものです。そのため急性期病棟での診療内容については従来と全く変わりはありませんが、積極的なリハビリや栄養管理を含めて質の高い医療が展開できることを期待しています。

ここ数年を通して、病院全体としての堅調な活動状況の変化がある中で、コロナ禍でそれが停滞してしまった状況の変化はあったと認識しています。その中で、当院の医師は各々が非常に高いレベルのポジションを担っていると思いますから、このまま継続してやってほしいと思います。病院としては今からの時期、胆力が試される時がやってきています。

さて、2025 年 1 月から東海大学整形外科より若手の野口医師が派遣されています。2025 年 4 月から当院では永らく不在でした消化器内科として経験豊富な秦医師が着任されました。改めて、当院でのご活躍を期待する次第です。

今後とも皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第 1 部

湘南中央病院

1 病院紹介

地域の人々の健康と安心を守って

1955（昭和 30）年、故若林巖初代理事長が辻堂駅北側に外科医院を開設して以来、湘南中央病院は藤沢市西南部の地域医療を担ってきました。急性期医療からリハビリテーション、在宅医療、緩和ケアまで、地域の医療ニーズに応じて包括医療を実践してきています。

2006（平成 18）年、創立 50 周年の節目に新しい病院づくりに取り組み、これまでの急性期（一般）病棟に加え、回復期リハビリ病棟・療養病棟・緩和ケア病棟を開設、災害時の病院機能を保証するため病院建物に免震構造を採用しました。

2013（平成 25）年に在宅診療部門を新設し、2014（平成 26）年に急性期（一般）内科病棟を「地域包括ケア病棟」と、急性期病棟（外科・整形・泌尿器・内科）として改編しました。

2018（平成 30）年は、HOLOGIC 社製のハイエンド骨密度測定装置を配備し、DEXA 法により体厚のある受診者の画像もより鮮明に抽出できるようになりました。また、最新型高性能 MRI を更新しました。（優れた環境性・高精細な画像・短い検査時間）

2020（令和 2）年は、新型コロナウイルス感染症により、3 月に帰国者接触者外来を設置、また 11 月に発熱者外来を設置しました。

2023（令和 5）年に「日本医療機能評価機構」の認定病院として 5 回目の更新を終えました。

地域の医療機関や患者さんとのコミュニケーションが円滑に進むよう地域医療連携室を強化し、また多職種によるチーム医療を実践していきます。

また併設施設として、介護老人保健施設 湘南わかば苑、わかば訪問看護ステーション、若林会居宅介護支援事業所、藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）があり、地域包括ケアシステムを構築しています。



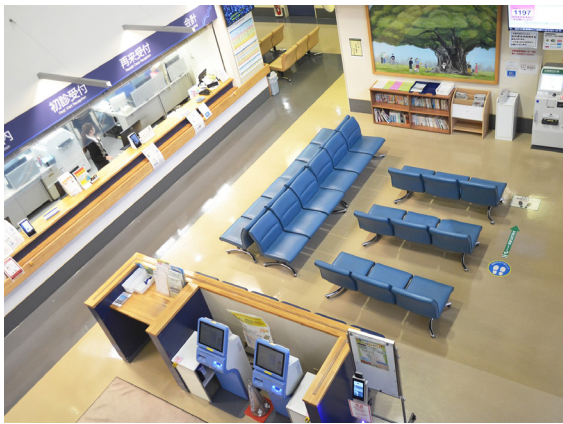
住 所： 〒 251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥 1 丁目 3 番 4 3 号

☞ JR 辻堂駅 東改札 北口より徒歩 8 分

（JR 辻堂駅北口よりシャトルバスあり）

土 地： 7,095.89㎡（2,146.5 坪） 延床面積： 11,324.52㎡（3,425.7 坪）

建 物： 鉄筋コンクリート造 7 階建、免震構造



総合案内



外来待合ホール



健康管理センター



MRI



リハビリテーションセンター



病院北西側

標 榜 科 目

内科 消化器内科 消化器外科
外科 整形外科 皮膚科 肛門外科
リハビリテーション科 呼吸器内科
神経内科 循環器内科 放射線科
心療内科 泌尿器科 緩和ケア内科
精神科 腎臓内科（人工透析）
糖尿病内科 内分泌内科

病棟および機能

緩和ケア病棟／16床 療養病棟／43床
地域包括ケア病棟／52床 急性期病棟／52床
回復期リハビリ病棟／36床 計199床
透析センター／35床 在宅診療

地域ケア部門

- ・わかば訪問看護ステーション
- ・若林会居宅介護支援事業所
- ・藤沢市明治いきいきサポートセンター
(地域包括支援センター)

- ・日本医療機能評価機構 認定病院
- ・日本整形外科学会認定医制度研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・National Clinical Database 施設

- ・日本手外科学会基幹研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・神奈川県災害協力病院

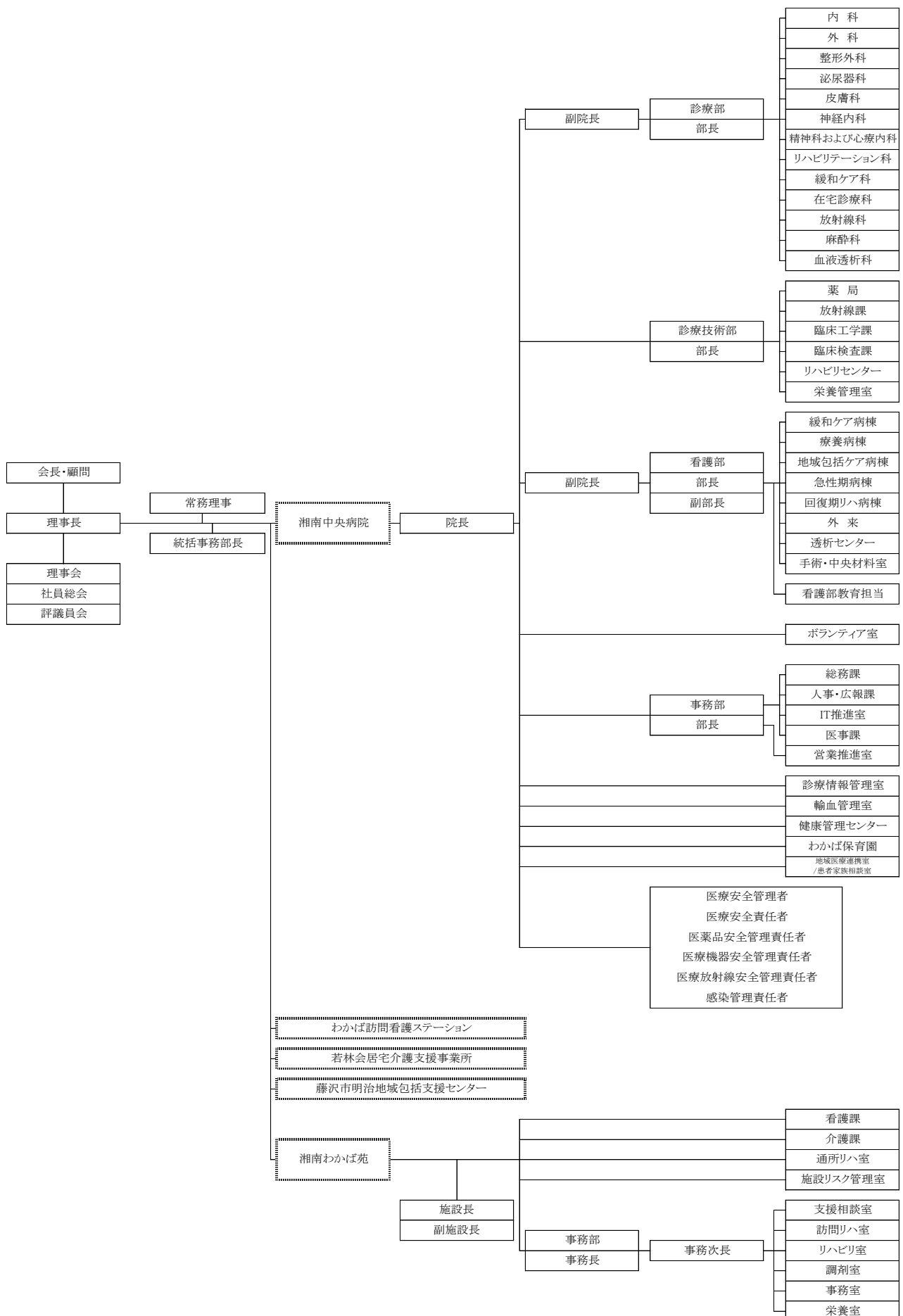
2 医療法人社団若林会の沿革と組織

(1) 沿革

1955 年	故若林巖先生が「若林外科医院」を設立 (19 床)
1959 年	「若林外科病院」を開設 (35 床)
1962 年	病院を増築増床 (68 床)
1964 年	医療法人若林会を設立、病院を「湘南中央病院」と改称
1979 年	新病院を建設・移転 (50 床)
1981 年	大蔵省より特定医療法人の認可を得る
1984 年	病院を増築・増床 (102 床)
1986 年	医療相談室を開設 在宅訪問看護を開始
1993 年	「湘南わかばクリニック」を開設 (血液透析ベッド 24 床)
1994 年	「わかば訪問看護ステーション」開設 「若林会在宅介護支援センター」開設
1999 年	「若林会居宅介護支援事業所」開設 若林信子医師 名誉院長就任 今井重信医師 理事長就任
2000 年	「介護老人保健施設 湘南わかば苑」開設
2001 年	「湘南わかばグループ」結成
2002 年	(財) 日本医療機能評価機構の『認定証』を受ける
2005 年	臨床研修 (管理型) 病院の指定
2006 年	新病院開院 (2 月 1 日) 永渕成夫医師 病院長就任、地域医療連携室 / 患者・家族相談室の新設 一般病棟・療養病棟オープン 緩和ケア病棟オープン (3 月 1 日) 病床数 199 床 (4 月 1 日) 回復期リハビリ病棟オープン (5 月 1 日) 藤沢市第 5 地域包括支援センター開設 (4 月 1 日) ※現:「藤沢市明治いきいきサポートセンター」
2007 年	(財) 日本医療機能評価機構の『認定証 Ver.5.0』を受ける
2008 年	湘南中央病院「わかば保育園」設置 (5 月 12 日)
2012 年	(財) 日本医療機能評価機構の『認定証 Ver.6.0』を受ける
2014 年	回復期リハビリ病棟入院料 1・体制強化加算取得 5 階一般病棟を地域包括ケア病棟に名称変更、地域包括ケア病棟入院料 1 取得 4 階一般病棟を急性期病棟へ名称変更 長田博昭医師 病院長就任
2015 年	湘南中央病院創立 60 周年記念事業開催
2016 年	今井重信医師 会長・名誉院長就任 長田博昭医師 理事長就任 (病院長兼務)
2017 年	(財) 日本医療機能評価機構の『認定証 3rdG Ver.1.1』を受ける 池田全良医師 病院長就任
2020 年	新型コロナウイルス 帰国者・接触者外来、発熱外来設置
2023 年	望月孝俊医師 名誉院長就任 (財) 日本医療機能評価機構の『認定証 3rdG Ver.2.0』を受ける
2024 年	呉鐵仁医師 理事長就任

(2) 医療法人社団若林会 組織図

2025 年 7 月 1 日現在



3 職員の状況（2025 年 3 月末現在）

※ 単位：人（ ）内は非常勤人数

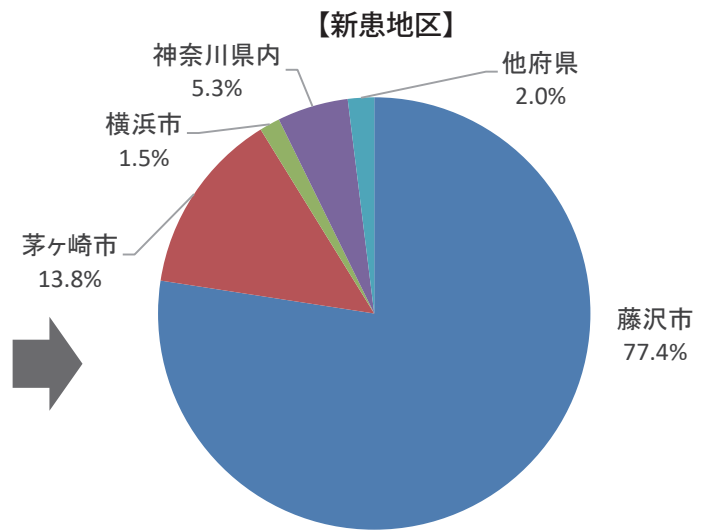
職 種	湘南中央病院	わかば訪問看護 ステーション	明治地域包括 支援センター	若林会居宅 介護支援 事業所	湘南わかば苑	合計
医 師	48 (29)	-	-	-	1 -	49
看 護 師	134 (29)	7 (1)	1	-	5 (1)	147
保 健 師	1 (1)	-	-	-	-	1
准 看 護 師	5 (1)	-	-	-	5 (3)	10
介護福祉士	23 (5)	-	-	-	30 (12)	53
ヘルパー	18 (8)	-	-	-	10 (7)	28
ヘルパー補助	-	-	-	-	-	-
クラーク・秘書	19 (17)	-	-	-	-	19
薬 剤 師	12 (2)	-	-	-	1 (1)	13
放射線技師	5 -	-	-	-	-	5
臨床検査技師	8 -	-	-	-	-	8
理学療法士	16 (1)	2 (1)	-	-	4 -	22
作業療法士	12 (1)	1	-	-	7 (1)	20
言語聴覚士	3 -	-	-	-	-	3
リハビリ助手	1 (1)	-	-	-	-	1
臨床工学技士	3 -	-	-	-	-	3
管理栄養士	5 (1)	-	-	-	1 -	6
主任介護支援専門員	-	-	2	3	-	5
介護支援専門員	-	-	-	1	1 -	2
社会福祉士	6 (1)	-	3	-	-	9
MSW・相談員	2 -	-	-	-	2 -	4
事 務 職 員	54 (32)	1 (1)	-	-	6 (2)	61
診療情報管理士	1 -	-	-	-	-	1
保 育 士	5 (2)	-	-	-	-	5
運 転 手	-	-	-	-	6 (6)	6
計	381 (131)	11 (3)	6	4	79 (33)	481

4 湘南中央病院の診療活動

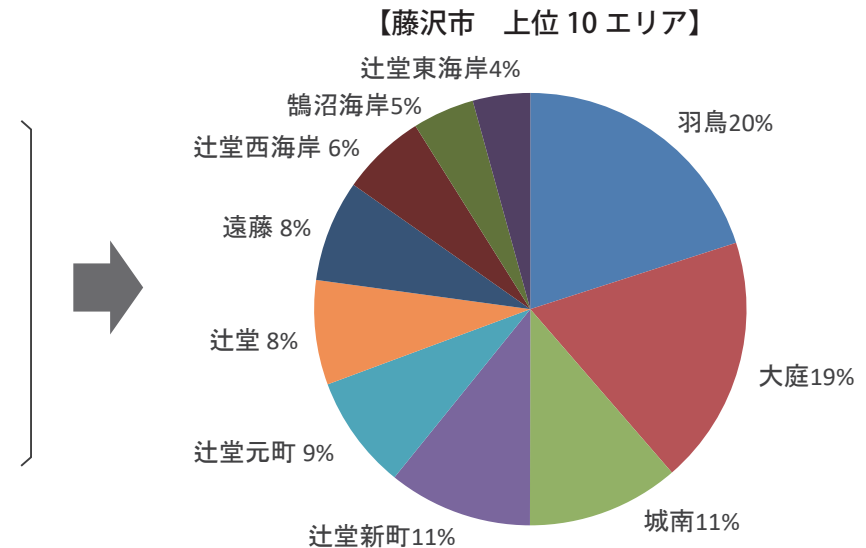
(1) 新患地区別統計

新患合計	3,975 名
------	---------

エリア	人数	割合
藤沢市	3,078	77.4%
茅ヶ崎市	547	13.8%
横浜市	61	1.5%
神奈川県内	211	5.3%
他府県	78	2.0%



エリア	人数	割合
羽鳥	364	11.83%
大庭	338	10.98%
城南	207	6.73%
辻堂新町	196	6.37%
辻堂元町	155	5.04%
辻堂	142	4.61%
遠藤	138	4.48%
辻堂西海岸	115	3.74%
鵠沼海岸	84	2.73%
辻堂東海岸	78	2.53%
石川1～6丁目	76	2.47%
亀井野	74	2.40%
辻堂神台	71	2.31%
藤沢	69	2.24%
湘南台	64	2.08%
善行	57	1.85%
本鵠沼	55	1.79%
辻堂太平台	45	1.46%
本藤沢	45	1.46%
片瀬	41	1.33%
善行団地	40	1.30%
鵠沼神明	39	1.27%
鵠沼桜が岡	34	1.10%
白旗	31	1.01%
善行坂	31	1.01%
石川	28	0.91%
高倉	27	0.88%
大鋸	27	0.88%
本町	24	0.78%
鵠沼松が岡	23	0.75%
稲荷	20	0.65%
立石	20	0.65%
天神町	18	0.58%
片瀬海岸	17	0.55%
川名	16	0.52%



エリア	人数	割合
菖蒲沢	16	0.52%
藤が岡	16	0.52%
鵠沼藤が谷	15	0.49%
西富	15	0.49%
下土棚	14	0.45%
円行	13	0.42%
西俣野	13	0.42%
長後	12	0.39%
弥勒寺	12	0.39%
片瀬山	11	0.36%
鵠沼橘	11	0.36%
渡内	11	0.36%
用田	10	0.32%
朝日町	9	0.29%
花の木	9	0.29%
村岡東	9	0.29%
鵠沼石上	8	0.26%

エリア	人数	割合
瀬郷	7	0.23%
打戻	6	0.19%
柄沢	6	0.19%
鵠沼東	6	0.19%
葛原	6	0.19%
宮原	6	0.19%
鵠沼花沢町	5	0.16%
南藤沢	5	0.16%
鵠沼	3	0.10%
みその台	3	0.10%
宮前	3	0.10%
今田	2	0.06%
小塚	2	0.06%
並木台	2	0.06%
江の島	1	0.03%
高谷	1	0.03%
土棚	1	0.03%

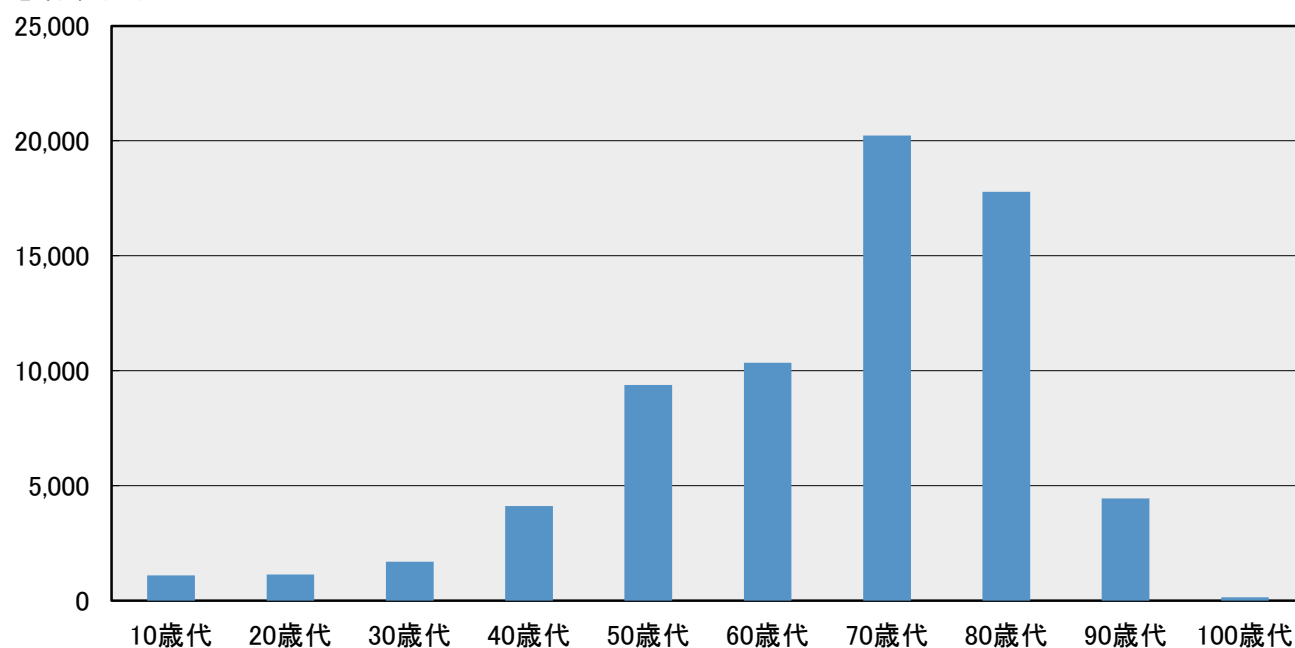
(2) 年齢別外来延べ患者数 (2024 年 4 月～ 2025 年 3 月)

(単位：人)

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	100 歳代	合計
²⁰²⁴ 4 月	84	80	142	360	734	933	1,671	1,537	414	11	5,966
5 月	86	96	141	299	759	875	1,721	1,467	391	14	5,849
6 月	107	79	128	297	757	882	1,658	1,396	350	12	5,666
7 月	109	99	145	352	835	905	1,839	1,496	382	15	6,177
8 月	122	114	167	365	764	850	1,693	1,468	393	14	5,950
9 月	75	82	121	314	734	759	1,679	1,486	380	8	5,638
10 月	84	103	142	352	839	852	1,771	1,546	381	11	6,081
11 月	101	82	125	328	755	785	1,658	1,536	324	15	5,709
12 月	101	123	161	467	957	986	1,776	1,559	421	11	6,562
²⁰²⁵ 1 月	79	90	153	345	774	847	1,586	1,471	327	11	5,683
2 月	70	88	135	292	734	824	1,538	1,343	313	12	5,349
3 月	85	105	126	339	732	847	1,645	1,483	374	13	5,749
合計	1,103	1,141	1,686	4,110	9,374	10,345	20,235	17,788	4,450	147	70,379
比率	1.6%	1.6%	2.4%	5.8%	13.3%	14.7%	28.8%	25.3%	6.3%	0.2%	100.0%

年間 年齢別外来延べ患者数

患者数(人)



(3) 外来患者各科別統計・紹介患者統計

2024 年度 外来各科別月別集計（夜間救急患者を除く）：科別ファイル枚数											(単位：人)		診療実日数				
	内 科 ※ 1	外 科	整形外科	皮膚科	泌尿 器科	リハビリ	緩和ケア	検査等 ※ 2	夕 診	合 計	1ヶ月 (営業日)	外科	皮膚科	緩和 ケア	夕 診		
2024 年 4 月	2078	348	1768	160	447	347	21	358	5	5532	25	24	8	10	5		
5 月	2017	306	1752	133	456	349	21	375	2	5411	24	23	7	10	4		
6 月	2000	327	1657	164	403	336	22	371	4	5284	25	24	8	7	4		
7 月	2235	389	1815	150	431	391	20	374	2	5807	26	24	7	10	5		
8 月	2089	346	1730	93	454	325	13	333	6	5389	26	24	6	8	4		
9 月	2001	349	1672	154	444	308	14	345	5	5292	23	22	6	7	4		
10 月	2127	370	1816	130	463	372	12	379	5	5674	26	23	6	5	5		
11 月	1982	361	1609	139	469	406	12	395	4	5377	24	21	8	7	4		
12 月	2469	417	1795	165	467	449	13	348	5	6128	25	25	8	8	4		
2025 年 1 月	2091	336	1621	153	416	391	14	305	7	5334	22	20	7	8	4		
2 月	1898	316	1561	119	445	352	20	259	1	4971	22	21	6	9	3		
3 月	2028	335	1746	178	441	397	14	292	0	5431	25	23	9	7	4		
計	25015	4200	20542	1738	5336	4423	196	4134	46	65630	293	274	86	96	50		
実日数	293	274	293	86	293	293	96	293	50	年間 1 日平均 外来患者数	224 人						
1 日平均	85.4	15.3	70.1	20.2	18.2	15.1	2.0	14.1	0.9								

※ 1 内 科：神経内科、心療内科、糖尿病内科含む

※ 2 検査等：各診療科含む

2024 年度 診療情報提供料取扱件数（他院への紹介）集計

（単位：件）

	月合計	紹介先別			目的別						疾患別				
		病院	診療所	その他	入院	転医	精査	手術	リハビリ	その他	内科	外科	整形外科	泌尿器科	その他
2024 年 4 月	59	51	7	1	0	10	2	0	0	47	0	0	3	1	55
5 月	51	47	4	0	3	6	1	0	1	40	0	0	2	1	48
6 月	48	41	7	0	1	3	2	0	0	42	0	0	1	0	47
7 月	56	50	5	1	0	2	3	2	0	49	1	0	1	0	54
8 月	49	45	4	0	5	2	7	1	2	32	1	0	3	3	42
9 月	65	55	8	2	1	8	4	2	0	50	4	0	5	3	53
10 月	61	53	8	0	2	8	2	2	0	47	5	2	5	4	45
11 月	52	46	5	1	2	2	6	0	1	41	3	1	3	1	44
12 月	56	50	5	1	2	8	3	2	1	40	2	1	3	1	49
2025 年 1 月	66	60	6	0	3	5	2	1	0	55	2	0	4	4	56
2 月	66	62	4	0	1	2	5	2	1	55	3	0	8	3	52
3 月	61	54	6	1	3	2	5	2	1	48	3	2	6	5	45
計	690	614	69	7	23	58	42	14	7	546	24	6	44	26	590
比 率		89.0%	10.0%	1.0%	3.3%	8.4%	6.1%	2.0%	1.0%	79.1%	3.5%	0.9%	6.4%	3.8%	85.5%

2024 年度 紹介元（他院より紹介された）集計

（単位：人）

	月合計	紹 介 元			地 域 別			診 療 科 別							
		病院	診療所	その他	内科	外科	整形外科	内科	外科	整形外科	リハビリ	泌尿器科	緩和ケア	他	
2024 年	4 月	186	90	88	8	134	9	43	54	21	90	1	4	13	3
	5 月	164	78	74	12	118	12	34	42	12	90	0	8	12	0
	6 月	158	86	61	11	123	11	24	41	18	76	1	9	13	0
	7 月	197	86	104	7	147	20	30	55	39	82	1	11	8	1
	8 月	163	79	77	7	119	12	32	48	21	72	0	10	12	0
	9 月	156	74	70	12	112	16	28	40	19	76	1	7	11	2
	10 月	198	98	93	7	137	19	42	56	26	89	0	14	12	1
	11 月	193	72	111	10	156	10	27	50	44	77	0	10	11	1
	12 月	169	79	80	10	129	10	30	43	27	79	1	7	10	2
2025 年	1 月	172	91	71	10	129	16	27	51	16	77	1	6	20	1
	2 月	164	89	63	12	118	13	33	46	20	74	0	1	21	2
	3 月	199	109	81	9	151	13	35	64	17	104	1	4	9	0
計		2119	1031	973	115	1573	161	385	590	280	986	7	91	152	13
比率			48.7%	45.9%	5.4%	74.2%	7.6%	18.2%	27.8%	13.2%	46.5%	0.3%	4.3%	7.2%	0.6%

(4) 病棟別退院患者統計

2024 年度 病棟別（年齢、地区、ICD-10 分類）一覧

《年齢別》

(単位：人)

	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	合計
19 歳以下	-	25	1	-	-	26
20 歳代	-	16	4	-	-	20
30 歳代	2	22	3	-	-	27
40 歳代	2	49	10	-	2	63
50 歳代	9	76	14	4	13	116
60 歳代	25	93	30	6	25	179
70 歳代	48	156	133	14	43	394
80 歳代	89	190	237	37	60	613
90 歳代	17	110	159	11	12	309
100 歳代	-	4	11	2	1	18
合 計	192	741	602	74	156	1,765

《地区別》

	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	合計
辻堂	20	123	96	4	10	253
明治	27	150	137	11	15	340
湘南大庭	9	69	47	6	8	139
遠藤	4	25	13	4	8	54
藤沢	16	28	32	4	2	82
鶴沼	12	63	33	2	10	120
六会	16	35	33	8	3	95
善行	18	50	45	9	8	130
湘南台	4	7	6	-	1	18
長後	6	5	6	1	1	19
御所見	6	8	4	1	1	20
片瀬	1	9	12	1	4	27
村岡	5	14	15	-	6	40
茅ヶ崎市	32	92	79	13	45	261
その他	16	63	44	10	34	167
合計	192	741	602	74	156	1,765

《ICD-10 大分類別》

ICD-10	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	合計
I 感染症	-	12	26	-	-	38
II 新生物	-	68	50	5	155	278
III 血液	-	7	3	-	-	10
IV 内分泌	1	15	13	2	-	31
V 精神	-	3	9	-	-	12
VI 神経	3	18	16	4	-	41
VII 眼	-	-	-	-	-	0
VIII 耳	-	4	5	-	-	9
IX 循環器	59	23	45	7	-	134
X 呼吸器	1	28	72	16	1	118
X I 消化器	2	85	24	4	-	115
X II 皮膚	-	6	8	2	-	16
X III 筋骨	25	46	121	7	-	199
X IV 腎尿路	-	29	37	18	-	84
X V 妊娠	-	-	-	-	-	0
X VI 周産期	-	-	-	-	-	0
X VII 先天性	-	2	-	-	-	2
X VIII 症状	-	7	12	-	-	19
X IX 損傷	101	371	114	5	-	591
X X 傷病	-	-	-	-	-	0
X X I 保健サービス	-	17	47	4	-	68
合計	192	741	602	74	156	1,765

(5) 手術件数 (2024 年度)

整形外科	
デブリードマン	6
皮膚、皮下腫瘍摘出術	10
腱鞘切開術	52
腱剥離術	4
腱縫合術	15
アキレス腱断裂手術	2
腱移植術	2
腱移行術	4
骨折経皮的鋼線刺入固定術	52
骨折観血の手術 鎖骨・肩鎖関節	12
骨折観血の手術 上腕	24
骨折観血の手術 前腕	64
骨折観血の手術 指（手・足）	32
骨折観血の手術 舟状骨	4
骨折観血の手術 大腿骨	68
骨折観血の手術 下腿骨	10
骨折観血の手術 膝蓋骨	2
骨折観血の手術 足関節	10
一時的創外固定骨折治癒術	1
骨内異物（挿入物）除去術	54
骨腫瘍切除術	2
骨切り術	4
骨移植術	2
靱帯断裂縫合術	1
観血の関節授動術	2
観血の関節固定術	1
関節形成術	14
人工骨頭挿入術 股関節	42
人工関節置換術 股関節	3
人工関節置換術 膝関節	7
人工関節置換術 肘関節	1
手根管開放術	39
デュプイトレン拘縮手術	1
椎間板摘出術	1
経皮的椎体形成術	30
神経剥離術	1
神経腫切除術	2
神経移行術	2
神経移植術	1
関節鏡下関節内遊離体の術術	1
小計	585

外 科	
皮膚、皮下腫瘍摘出術	3
胸腔鏡下肺切除術	1
下肢静脈瘤手術	1
CV ポート挿入術	6
ヘルニア根治術	20
胃切除術	1
腹腔鏡下胆嚢摘出術	7
肝切除術	1
虫垂切除術（腹膜炎手術を含む）	6
結腸切除術	10
腹腔鏡下結腸切除術	1
低位前方切除術	3
腹腔鏡下直腸切除術	2
痔核・痔瘻根治術	9
小腸部分切除術	2
小計	73

泌尿器科	
前立腺生検・膀胱鏡検査	28
経尿道の膀胱腫瘍切除術	6
経尿道の前立腺切除術	1
小計	35

総数（外科＋整形外科＋泌尿器科）	693
------------------	-----

(6) 透析センター患者状況 (2024 年度)

- ・外来維持透析患者数 39 名 (男性 24 名 (61.5%) 女性 15 名 (38.5%))
- ・入院透析患者数 43 名 (男性 19 名 (44.2%) 女性 24 名 (55.8%))
- ・血液透析回数 6171 回 (外来 4525 回 入院 1646 回) 稼動 313 日
- ・転入患者 入院 23 名 (男性 7 名 女性 16 名)
外来 4 名 (男性 3 名 女性 1 名)
- ・転出患者 入院 19 名 (男性 5 名 女性 14 名)
- ・死亡患者 入院 13 名 (男性 8 名 女性 5 名)

・主要原疾患

	男 性	女 性	合 計	在籍患者に対する割合
慢性糸球体腎炎	7	3	10	12.2%
糖尿病性腎症	9	13	22	26.8%
腎硬化症	14	6	20	24.4%
多発性嚢胞腎	3	3	6	7.3%
その他	10	14	24	29.3%
合計 (名)	43	39	82	100%

・年齢区分

	男 性	女 性	合 計	在籍患者に対する割合
30 歳～	0	1	1	1.2%
40 歳～	2	0	2	2.4%
50 歳～	7	0	7	8.5%
60 歳～	5	5	10	12.2%
70 歳～	14	14	28	34.2%
80 歳～	8	18	26	31.7%
90 歳～	7	1	8	9.8%
合計	43	39	82	100%

平均年齢 (歳) : 76.0(全体)、78.4(入院)、73.5(外来)

最少年齢 : 39 歳 (女性・入院) 最高年齢 : 98 歳 (男性・外来)

・透析歴

	男 性	女 性	合 計	在籍患者に対する割合
2 年未満	4	9	13	15.9%
2 年～	8	7	15	18.3%
5 年～	11	7	18	21.9%
10 年～	9	10	19	23.2%
15 年～	7	3	10	12.2%
20 年～	2	1	3	3.6%
25 年～	2	2	4	4.9%
合計	43	39	82	100%

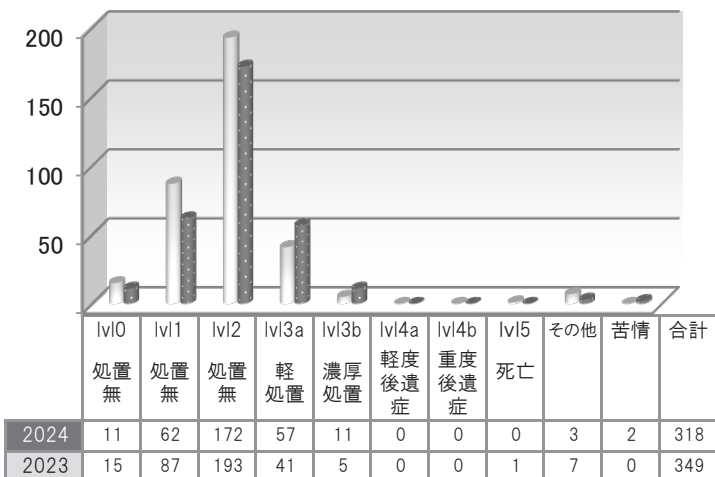
※ 最長透析歴 36 年 9 ヶ月 (男性・外来)

(7) 医療安全・インシデントアクシデントレポート分析

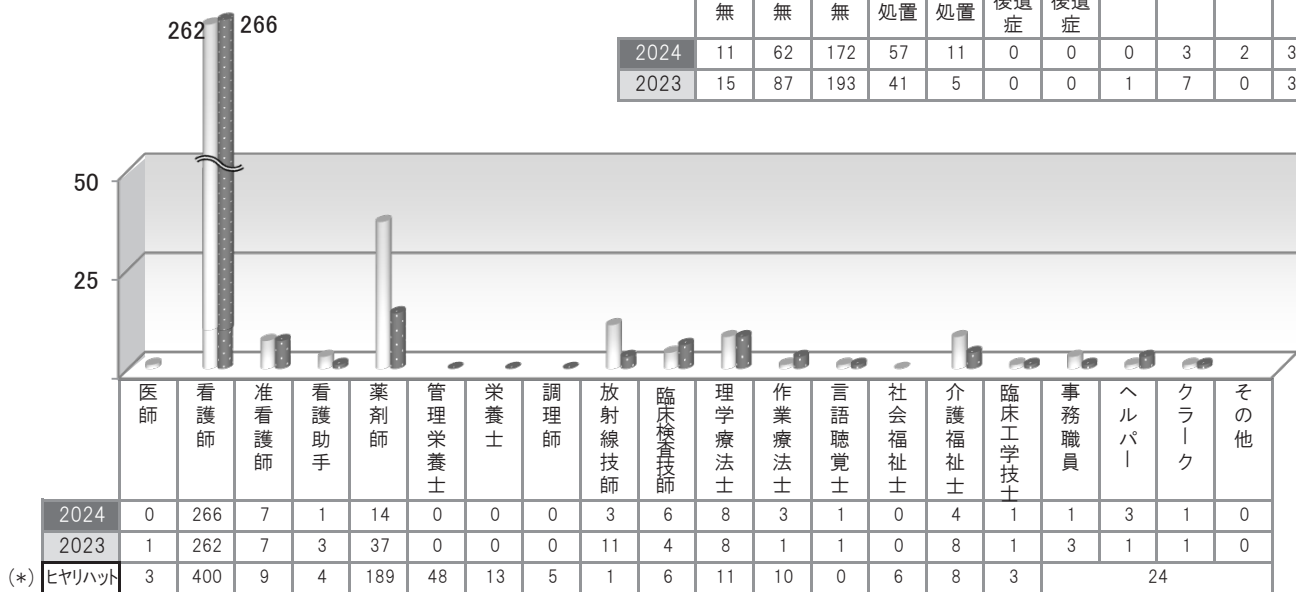
インシデントアクシデント レポート件数報告 2024年度

報告システムの強化に継続的に取り組んだ結果、報告件数は1,102件と過去最高を達成しました。これは、日々の業務における小さな気づきやヒヤリハットが積極的に共有され、組織全体の安全意識が高まっていることを示しています。今後も、この活動を通じて得られた貴重な情報をもとに、より安全で働きやすい環境づくりを進めていきます。

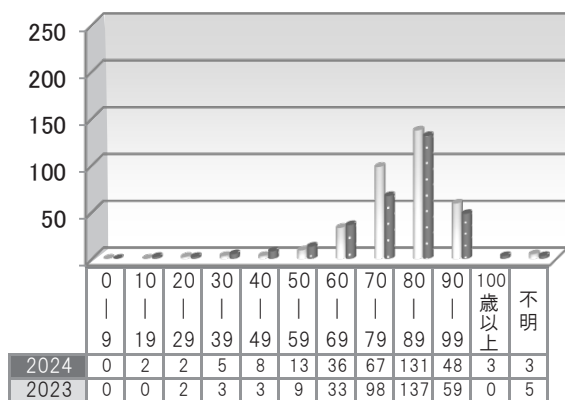
■年度・レベル別発生状況



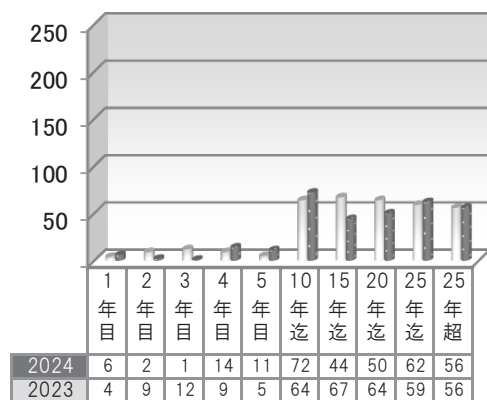
■職種別発生状況



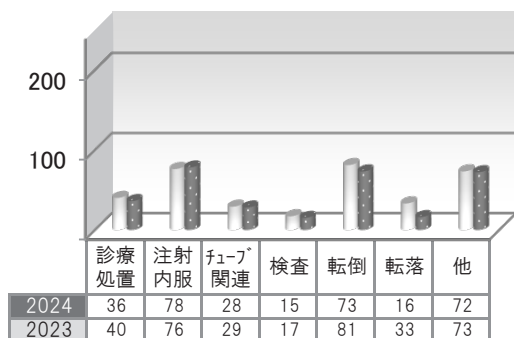
■患者年齢別発生状況



■職員経験年数別発生状況



■主な原因別発生状況



■ヒヤリハットレポート

	lv0	lv1	その他	合計
2024	543	184	57	784
2023	473	130	35	638

ヒヤリハット(簡易レポート)は2020年度より運用を開始しました
(*)職種別発生情報のヒヤリハット件数は最新年の件数です

※同一事故であっても報告件数で統計を行なっているため、複数カウントされることがあります。

(8) 施設基準届出一覧

2025.7.1 現在

◇基本診療料（入院料等基本的な診療行為の費用）

1. 地域包括医療病棟入院料（4 階病棟）
2. 急性期看護補助体制加算 25 対 1（看護補助者 5 割以上）（4 階病棟）
3. 夜間看護補助体制加算 50 対 1・夜間看護体制加算（4 階病棟）
4. 看護職員夜間配置加算 16 対 1 配置加算 1（4 階病棟）
5. 療養病棟入院基本料 1・夜間看護加算（6 階病棟）
6. 回復期リハビリテーション病棟入院料 1（3 階病棟）
7. 緩和ケア病棟入院料 1（7 階病棟）
8. 地域包括ケア病棟入院料 1（5 階病棟）
9. 看護職員配置加算 50 対 1（5 階病棟）
10. 看護補助者配置加算 25 対 1（5 階病棟）
11. 診療録管理体制加算 3
12. 医師事務作業補助体制加算 2（100 対 1）
13. 療養環境加算
14. 療養病棟療養環境加算 1
15. 医療安全対策加算 2・医療安全対策地域連携加算 2
16. 感染対策向上加算 2（連携強化加算・サーベイランス強化加算）
17. 患者サポート体制充実加算
18. 入退院支援加算 1
19. データ提出加算 1
20. 後発医薬品使用体制加算 1（9 割使用）
21. 機能強化加算（外来初診時）
22. せん妄ハイリスク患者ケア加算

◇特掲診療料（個々の診療行為についての費用：管理、リハビリ、検査、手術、輸血料等）

1. 糖尿病合併症管理料
2. がん性疼痛緩和指導管理料
3. ニコチン依存症管理料
4. がん治療連携指導料
5. 薬剤管理指導料
6. 医療機器安全管理料 1
7. 在宅療養支援病院（連携強化型）
8. 在宅時医学総合管理料
9. 在宅がん医療総合診療料
10. 在宅患者訪問看護・指導料
11. 同一建物住居者訪問看護・指導料
12. 検体検査管理加算（Ⅰ）
13. CT 撮影及び MRI 撮影（大腸 CT 撮影含む）
14. 無菌製剤処理料
15. 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算
16. 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算
17. 人工腎臓 導入期加算Ⅰ
18. 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
19. 下肢抹消動脈疾患指導管理加算
20. ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術
21. 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
22. 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術（胸腔鏡、腹腔鏡下手術等）
23. 胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術）・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
24. 輸血管理料Ⅱ（輸血適正使用加算）
25. 救急搬送看護体制加算
26. 二次性骨折予防継続管理料 1・2・3
27. 在宅医療情報連携加算
28. 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
29. 入院ベースアップ評価料

(9) 提携医療機関

第三次医療機関

医療機関名
東海大学医学部附属病院
藤沢市民病院
神奈川県立がんセンター
湘南鎌倉総合病院
湘南藤沢徳洲会病院
北里大学病院
聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター
横浜市立大学附属 市民総合医療センター
神奈川県立こども医療センター

提携医療機関

専門	医療機関名
脳神経外科	藤沢脳神経外科病院
	藤沢市民病院
	はしもと脳神経外科クリニック
小児科	藤沢市民病院
	湘南藤沢徳洲会病院
産婦人科	吉田クリニック
	辻堂レディースクリニック
	湘南藤沢徳洲会病院
眼科	こうの眼科クリニック
	蓮沼眼科クリニック
耳鼻咽喉科	関根耳鼻咽喉科医院
	あいあい耳鼻咽喉科医院
歯科	元町歯科

5 診療部

診療部理念

湘南わかばグループの理念の実現のため、病院全体として実践するチーム医療の中心として地域の一人一人の患者さんに最善の医療を提供します。

目標

- ・ 患者さんの権利を尊重し、十分な医療情報を提供します。
- ・ すべての患者さんに公平に医療を提供します。
- ・ 安全な医療を提供するために組織的に取り組みます。
- ・ 予防からターミナルケアまで含んだ包括的な医療を地域のニーズに合わせて提供します。
- ・ 救急医療を充実し、地域の要請に応えます。
- ・ 一人一人の患者さんから学ぶと共に、医療における最新の知識の習得に努めます。
- ・ 次代を担う医師の人材育成をめざします。

(1) 診療部概要

診療部長 外科 松崎 博行

湘南中央病院診療部には現在 19 名の常勤医と、40 名前後の非常勤医が在籍しています。常勤医の科別の内訳は内科 7 名、整形外科 4 名、外科 3 名、リハビリテーション科 2 名、泌尿器科 1 名、緩和ケア科 1 名、在宅診療科 1 名となります。

外来診療科は内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、肛門外科、整形外科、泌尿器科、緩和ケア内科、心療内科、糖尿病内科、内分泌内科、精神科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科、腎臓内科（人工透析）、放射線科を標榜しています。内科に付随して糖尿病外来、外科に付随して肛門病外来、日帰り手術外来が設けられています。

また、毎週月曜日、火曜日の午後、予約制で「なんでも相談外来」を開始しました。こちらは受診すべき科の相談や服用されている処方薬の疑問などを相談できる外来となっています。

また 2024 年から健診部門を再開しています。

入院診療は 3 階回復期リハビリテーション病棟、4 階地域包括医療病棟（急性期病棟）、5 階地域包括ケア病棟、6 階療養病棟、7 階緩和ケア病棟にて行っています。

救急部門は藤沢市の 2 次救急輪番病院、救命センター協力病院として藤沢市の救急医療では傷病者情報管理システムを導入し一翼を担っています。

(2) 各診療科紹介

外 科

当院外科は、現在 3 名で診療を行っております。

2024 年 4 月から 2025 年 3 月まで、病院全体の外来患者数が減少したこともあり、当院外科手術件数は 74 件（麻酔科管理 66 件）と減少しています。腹腔鏡および胸腔鏡下手術が 11 件、悪性疾患は 15 件でした。

また、同期間の手術当日退院と翌日退院の日帰り手術（いわゆる same day surgery）は 28 件でした。年々、手術に占める same day surgery の割合は増加しています。

手術の内容は消化器外科が大部分を占めますが、乳腺、甲状腺、呼吸器や体表面の腫瘍など広く外科手術一般を施行しております。

また、当科では外来診療の待ち時間短縮および診療内容の充実を目的に予約診療を行っており、患者さんにはおおむね好評をいただいております。もちろん急患は随時診療を行っております。加えて、病院ホームページに掲載しております日帰り手術を含めた短期入院手術や内痔核に対する PPH 法といった特別な治療を希望され当院を選んで受診される患者さんも来院されています。

当院外科では手術だけでなく、内視鏡診断、内視鏡治療、抗癌剤治療、在宅医療や緩和医療の一部も院内、院外を問わずに連携して診療を行っております。それはつまり、診断から治療、その後まで一つの病院で完結することのできる体制であるということで、私たち一般市中病院の大切な役目だと考えております。

一般市中病院の外科としての機能と、高い専門性を持った治療とのバランスを取った湘南中央病院外科らしい診療を行い、選んで受診してもらえる病院を目指していきたいと考えています。

（外科部長 松崎 博行）

整形外科

1. 概要

整形外科では運動器の外傷および疾患を取り扱います。その対象は、整形外科一般外傷の骨折、骨粗鬆症を有する高齢者の大腿骨頸部骨折・転子部骨折、脊椎圧迫骨折、退行変性疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍などです。高齢化社会に伴い骨粗鬆症による骨折も増加傾向であるため、骨折予防の観点から骨密度検査を含めた骨粗鬆症の検査を行い、適切な治療を選択します。地域に密着した医療を提供するとともに、藤沢市医師会の整形外科医会と密に連携を取り紹介患者を受け入れます。また、外科系二次救急を含めた救急患者を受け入れます。専門領域別では、手外科、脊椎外科、膝・股関節外科などが主な対象疾患となります。整形外科全般の疾患に対する診断・治療を行います。個々のスタッフの専門性を尊重して質の高い診療の提供に努めます。当院では入院・手術およびリハビリを積極的に取り組んでいます。入院では、疾患・外傷の種類とその治療内容に応じて地域包括医療病棟（急性期病棟・4 階病棟）および地域包括ケア病棟（5 階病棟）への受け入れを行い、さらに回復期リハ病棟（3 階病棟）への転入が可能です。近隣の病院からも術後のリハビリの継続や安静加療目的の転院を受け入れます。

2. スタッフ構成

2024 年度の整形外科は常勤医師 4 名で始まり 2025 年 1 月から野口医師が東海大学から出向となりました。非常勤医師は前年同様 5 名で継続しています。

常勤医師 今井重信（会長）、池田全良（院長）、宇都秀鈴（整形外科部長）、立岩孝明、野口俊洋

非常勤医師 山本至宏、中島大輔、横山美由希、隅山香織、岸達也

（この内、立岩孝明、宇都秀鈴、野口俊洋は東海大学からの出向医師です。また、中島大輔、隅山香織、岸達也は東海大学からの派遣医師です。）

3. 活動内容

当院整形外科は日本整形外科学会専門医の研修施設基準を満たしており、東海大学を基幹施設とした臨床研修プログラムにおける関連施設であります。1 名は日本手外科学会認定手外科専門医であり日本手外科学会専門医研修施設でもあります。そのため、整形外科専門医を有する整形外科医は手外科専門医を取得するための研修も当院で可能です。

臨床実績では、2024 年度の整形外科外来患者数は 1 日平均 73 人であり、1 日あたりの入院患者数は、急性期病棟（4 階病棟）で平均 29 人、地域包括ケア病棟（5 階病棟）で平均 11 人でした。手術症例数は 585 件でした。年間を通して重大な医療事故はありませんでした。

外来患者の内訳は、主として地域の患者様、救急、藤沢市医師会整形外科医会をはじめとした藤沢市、茅ヶ崎市周辺の医療機関からの紹介患者様、東海大学関連の紹介患者様でした。

入院患者は、疾患の治療目的に応じて地域包括医療病棟（急性期病棟）と地域包括ケア病棟へ入院病床の割り振りが可能です。手術や急性期疾病の治療を目的とした短期入院の場合は急性期病棟での入院となります。また、急性期病棟での治療後に在宅に向けたリハビリを継続する場合や、療養リハビリが必要な場合、他の医療機関で急性期治療を行ったのちの在宅復帰に向けた入院継続、および比較的長期にわたる保存的治療が目的の場合は地域包括ケア病棟への入院になります。

診療内容は、運動器疾患と外傷に対する診療が中心でした。一般的な運動器外傷に対する手術療法に加えて、高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折（圧迫骨折）および大腿骨近位部骨折、上肢の外傷と疾患（退行性関節疾患・腫瘍など）に対する手術、膝および股関節の人工関節手術、脊椎外科です。高齢者の運動器の外傷においては、骨粗鬆症の評価・治療とともにその治療をすすめてきました。大腿骨近位部骨折に対しては、早期の手術を計画し術後のリハビリに取り組めるように努力しています。大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術や骨接合術、大腿骨転子部骨折に対する骨接合術を行っており、大腿骨近位部骨折に対する 2024 年度の手術件数は 95 件でした。骨粗鬆症性椎体骨折（圧迫骨折）に対する経皮的椎体形成術（BKP または VBS）施行件数は 30 件ありました。手術は脊椎・脊髄病学会認定指導医が施行しました。人工膝関節手術（TKA）件数は 7 件でした。当院の特徴でもある手外科では、骨折、腱・靱帯損傷、骨軟部腫瘍、人工関節と幅広い疾患、外傷の手術を行っています。その多くの症例は他施設からの紹介であり、近隣のクリニックをはじめとする諸先生方に感謝申し上げます。

骨折の手術後には、骨粗鬆症に対する治療や超音波骨折治療にも積極的に取り組んでいます。今後も引き続き安全で質の高い治療と手術を行う所存です。

今後、当院の整形外科は急性期に加えて近隣の急性期病院からの後方支援としても地域医療の一翼を担い、信頼される医療を皆さんに提供してまいります。

（整形外科部長 宇都 秀鈴）

泌尿器科

泌尿器科は腎臓から尿管・膀胱と、男性の前立腺・精巣の腫瘍や炎症性疾患などを治療しています。

2010 年より始まった藤沢市の PSA 健診に協力し、検査・治療を行っています。

また、院内の他の診療科、近隣の病院・診療所と連携し、患者さんの治療に当たっています。

今後、高齢化に伴い排尿障害を併発する患者さんの数が増えると予想されますので、病棟や外来で果たす役割も重くなっていくものと考えています。

(泌尿器科医長 多田 真浩)

リハビリテーション科

36 床の回復期リハビリテーション病棟では、急性発症した脳血管障害・運動器疾患（骨折、整形外科での手術後、脊髄損傷、義肢が必要な四肢切断など）・肺炎や大きな手術後の廃用症候群などの患者さんの入院リハビリテーションが可能です。療法士（理学療法・作業療法・言語聴覚）と看護師と介護福祉士と MSW と日々連携して、チーム医療を構築しています。その中で、日々慎重なリハビリテーションを進めています。合併症や既往症への対応も、同時に行ない、必要時に当院の他科や紹介医等とも相談して診療しています。

昨今の新型コロナウイルスなどの感染症に対して、感染予防や発症時の隔離・治療・拡大予防策を行っています。

専門外来ではリハビリテーション全般や在宅障害者の後遺障害などの診療が可能です(馬淵医師担当)。

2018 年 2 月より馬淵が常勤医師となりました。2021 年 3 月末にリハビリテーション科専門医の飛松治基医師が退職されました。2022 年 4 月より田中洋医師が入職しました。

現在は、常勤医師が 2 人体制となっています。

主な対象疾患

- 脳血管障害（脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血）、脳出血性疾患後の水頭症（髄液シャント術後）
- 骨関節疾患（大腿骨頸部骨折・腰椎などの骨折、変形性関節症、変形性脊椎症、脊椎脊髄疾患、脊椎脊髄疾患などの術後、四肢切断術後の義足作成）
- 肺炎や開胸・開腹術後（心大動脈疾患・消化管）・整形疾患などの廃用症候群
- 高次脳機能障害、失語症、摂食・嚥下障害

特色

- 在宅生活や社会復帰を可能にしていくことが主な目的となります。
地域の老人保健施設・訪問看護ステーション・訪問リハビリステーション・地域包括支援センターとの連携にも取り組んでいます。
- リハビリテーション治療が終了したのち、患者さんの内科的合併症などの継続的治療は、主に地域かかりつけ医または元の急性期病院へ紹介しお願いしています。
- 資格は、馬淵一樹（日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション学会専門医）、田中洋（日本脳神経外科学会専門医、日本リハビリテーション学会専門医）です。

(リハビリテーション科医長 馬淵 一樹)

皮膚科

＜医 師＞

東海大学から非常勤 3 名

＜診 察＞

外来は月・木・金曜の午後、また入院（病棟）も診察しております。

内 科

1. はじめに

2024 年度も発熱外来は継続し、新型コロナウイルス感染症に対応していましたが、軽症例が多くなり、入院を要する症例は少なくなりました。

季節性インフルエンザの流行により、当院含め、近隣の病床も逼迫する状況がありました。

2. 医師体制

2024 年度内科常勤医師は、村川、新城、岡、小川、永渕、望月の 6 名でした。4 階急性期病棟（地域包括医療病棟に変更）、5 階包括ケア病棟以外に、6 階療養病棟を村川が、透析室を新城、永渕が担当しています。また、消化器内科医（常勤）は 2025 年度に着任しました。

健診が再開され、望月が担当することになりました。

非常勤医師として岡田、奥脇が一般内科外来を、三吉（心療内科）、酒井（糖尿病）、松川（神経内科）がそれぞれの専門外来を担当しています。

3. 新型コロナウイルス感染症

1 年を通して発熱外来を維持し、約 2700 名の発熱患者に対応しました。前年度からは -600 名程の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症の入院患者は現在に至るまで隔離対応を行っています。

また、新型コロナ急性期治療後の療養・リハビリ目的の下り搬送は前年よりもかなり減少しました。

4. 外来・病棟

2024 年度内科外来は発熱外来を含めて月平均 2086 名、昨年度比 -15.6%でした。

4 階急性期病棟、5 階包括ケア病棟、6 階療養病棟の年間病床利用率は、それぞれ 73.5%、86.5%、88.3%でした。

地域包括ケア病棟の入院相談件数は 666 件で、内科は 432 件でした。

5. 今後の課題

透析設備を有する病院のため腎臓内科医の確保が優先課題と考えています。

（内科部長 小川 英幸）

緩和ケア内科

最近は数年前と比べて緩和ケアの理解がかなり進んできたと思います。少し前までは緩和ケア病棟は死ぬ場所、最期の場所と考えられ十分理解されずに嫌われることもありました。しかし今はどういう場所か理解したうえで来ないと判断される方もいます。

入院しない患者さんはどこへ行くのでしょうか？緩和ケアは緩和ケア病棟だけで受けられるのではなく一般病棟、外来、在宅、施設などいろいろな場所で受ける事が出来るようになってきました。患者さん家族の希望した場所や患者さんの病状、家庭環境などによって一番合った場所で受けられるようになってきたのです。

また最期に受ける医療ではなく癌の治療中から受けることも出来る病院も増えてきました。緩和ケアチームがある病院では治療中の患者さんの所にチームが出向き身体症状や精神症状、スピリチュアルに対応してくれています。しかし十分な対応が出来る病院は残念ながら少数派です。人材やコストの問題で緩和ケアチームがなかったり、あっても機能していない病院が多いのが現実です。しかし大きい流れとしては治療中からでも緩和ケアを受けられるようになってきていると思います。

このような流れは緩和ケアの定義からすれば当たり前の状況にやっとなってきたのだと思います。2002年にWHO（世界保健機構）が示した定義『生命を脅かす疾患に伴う問題に直面する患者と家族に対し、疼痛や身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期から正確にアセスメントし解決することにより、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質（QOL）を向上させるためのアプローチである。』と定義しているからです。

ここでは早期からと規定されておりまた場所の指定はないのです。とにかく患者、家族が早期から緩和ケアをうけて病気からくる苦しみを少しでも解放することが求められています。

私たち湘南中央病院では緩和ケア病棟だけでなく一般病棟、外来、在宅でも緩和ケアが受けられるように体制を整えたり、近隣の在宅医師や施設と連携したり当院の在宅診療科や訪問看護とも連携していますが、早期からの対応はまだ十分な状態ではありません。

今後さらに体制を整えていかなければならないと考えています。しかし2020年から全世界的に問題となっているコロナウイルス感染の拡大による全国的な病棟逼迫のため当院も協力しなければならず、2021年2月より当院緩和ケア病棟をコロナ関連病棟へ変更しコロナの治療後在宅に戻れない患者や疑い患者の入院をする病棟として活動してきました。

ここへきて病院の協力により2022年4月よりやっと緩和ケア病棟に戻すことが出来、2025年6月からスタッフも充足し16床で稼働が出来るようになりました。面会制限も15時から19時までですが、小さいお子さんや友人など家族以外の面会も時間内なら制限なく面会できるようになりました。またペットの持ち込みも「ゲージに入れる」事と前もって予約さえしてもらえれば病棟に連れて入れる事も出来ます。

コロナ感染状況は落ち着いてきていますが、まだ完全に落ち着いたわけではないので少しずつ出来る事から対応しコロナ前より素晴らしい緩和ケア病棟にして、少しでも癌からくる苦しみから多くの患者を解放できるようにしたいと思っています。

（緩和ケア内科医長 片町 守男）

在宅診療科

在宅診療科は、通院困難な患者さんへの定期的な訪問診療を行い、担当する医療・介護スタッフ（訪問看護、訪問薬局、訪問歯科、ケアマネジャー、他）と連携して、自宅や施設で安心して療養を続けられるようサポート致します。契約している患者さんに対しては、365日×24時間の緊急連絡を受ける体制を整えており、要請があれば往診に伺います。入院が必要と判断した場合には、当院にて対応、もしくは他の医療機関へ紹介します。

当院だけでは対応が難しい眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・精神科・放射線治療科などは、連携先医療機関と協働して診療にあたります。

<スタッフ>

医師は常勤2名（専任1名、緩和ケア科兼任1名）、非常勤3名
看護師3名、医療事務2名

<特色>

院内の緩和ケア外来や緩和ケア病棟との連携を強みに、がん末期の患者さん宅への訪問診療を積極的にお引き受けしています（在宅緩和ケア充実病院加算を算定しています）。

他にも認知症や脳梗塞後遺症、心不全や慢性呼吸不全、整形外科的疾患など、がん以外の病気で通院が難しい方も対象にしていますので、訪問診療が必要な場合は御相談下さい。

<2024年度の診療実績>

- ・利用者数 98人前後／月
 そのうち、がん末期の症例 21人前後／月
- ・新規訪問 90名／年（がん43人、非がん47人）
- ・相談数 134名／年（がん71名、非がん63名、44名は新規訪問につながらず）
- ・在宅看取り 50件／年（がん2928人、非がん22人 自宅37人、施設13人）
- ・病院看取り 23名／年
- ・緊急往診 64件／年
- ・オピオイド系鎮痛薬の患者自己注射を指導・実施した実績 26人／年

（在宅診療科医長 福崎 幸治）

6 看護部

看護部理念

湘南わかばグループの理念にそって地域住民の健康レベルに合わせ、心あたかな全人的看護・介護を提供します

看護部方針

1. 私たちは湘南わかばグループの一員として、他職種の職員や他機関の人びととチームをくみ、地域住民のニーズにそった安全で質の高い看護・介護を提供します。
2. 私たちは患者・利用者とともにあゆみ、よりよい人間関係のなかで人びとの健康レベルに応じた全人的ケアを提供します。
3. 私たちはあたたかで謙虚な心をもって看護・介護を実践し、患者・利用者の尊厳と権利を尊重します。
4. 私たちは専門職業人として自己啓発・相互啓発に努め、活力に満ちた職場文化を創ります。

(1) 看護部報告

副院長 春日 慶子

< 2024 年度看護部目標・評価 >

1. 収益の最大化とコストの最適化を推進する

入院基本料が5基準から7基準となり、意思決定支援・身体拘束最小化への取り組みが行われました。4階急性期病棟の名前は変更せず、2025年1月から地域包括医療病棟へ転換しています。4階病棟としての収益性はアップしましたが、法人目標は未達となりました。電子カルテWGにて、見学や検討が進められています。経費削減を念頭に適切な在庫管理も進めています。

2. 安心・安全で信頼されるケアの提供

外来・入院・退院での支援内容の変化に見える化する為、外来継続看護記録用紙を活用しています。様々な意思決定支援の場面があり、適切なタイミングで支援できるよう他職種とともに協同しています。身体拘束最適化チームの発足と活動開始に伴い、身体拘束マニュアルが改訂されました。感染対策は良好に機能しました。

3. 職場環境の整備、人材確保、看護の質と効率を念頭に業務の改善を推進する

人材確保が容易ではない昨今、看護部にリリーフ人材をプールし体制構築に努めました。育児休暇取得後・就業時間制限・体力的問題、等々諸条件を鑑み採用してきました。休暇取得に貢献しました。今後も継続します。訪問・在宅医療を担うスタッフの補充も重要課題です。24時間体制を維持するために試行錯誤しています。

4. 看護要員の臨地実践能力向上に向けた活動と支援

教育委員会のリーダーシップのもと学研e-ナースングを使用し、全職員研修に努力しています。看護補助者の教育指導にも有効活用しています。院外研修参加者49名と湘南ナース参加など新たな知見を得る場の提供をしています。

看護部職員数（休職者除く）

	常勤	常勤②	非常勤	計
看護師	96	18	10	124
准看護師	4	1	0	5
介護福祉士	18	4	1	23
ヘルパー	10	4	10	24
クランク（他）	2	3	15	20
	130	30	36	196

＜平均年齢＞

看護師	43.00
准看護師	53.20
介護福祉士	47.90
ヘルパー	47.26
クランク・事務	54.55

＜平均勤続年数＞

看護師	8.00
准看護師	15.00
介護福祉士	7.43
ヘルパー	6.89
クランク・事務	10.55

2025年3月31日現在

(2) 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度（2024 年度）

【看護必要度】

入院患者に提供されるべき看護の必要量評価票を用いて測定し、基準を満たす患者を入院させていることが条件である

「得点」

- ・ A 項目：モニタリング及び処置等に係る項目
- ・ B 項目：患者の状況等に係る項目
- ・ C 項目：手術等の医学的状況に係る項目
- ・ 日常生活機能評価（回復期リハビリテーション病棟のみ）

必要度集計

	回復期リハビリテーション病棟	急性期病棟	地域包括ケア病棟
	日常生活機能評価 10 点以上の患者数が 40% 以上	「A 2 点以上かつ B 3 点以上」、 「A 3 点以上」、「C 1 点以上」、 いずれかの該当患者割合が 16% 以上	A 1 点以上又は C 1 点以上に該当する患者割合が 10% 以上
4 月	39.0%	29.8%	15.9%
5 月	54.0%	32.0%	18.7%
6 月	50.0%	18.9%	17.0%
7 月	50.0%	23.3%	11.6%
8 月	49.0%	26.7%	16.3%
9 月	39.0%	23.0%	13.6%
10 月	42.0%	22.8%	13.2%
11 月	63.0%	26.8%	9.5%
12 月	44.0%	23.3%	16.5%
1 月	53.0%	24.5%	18.8%
2 月	42.0%	24.8%	17.9%
3 月	52.0%	27.5%	19.8%

(3) 3階 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管障害や骨折などのため急性期で治療を受けられ、在宅退院を目標とし、集中的なリハビリテーションを行う病棟です。患者さんの機能回復や日常生活に必要な動作の獲得、社会生活への復帰を目指す方がご入院されています。患者さんごとに、リハビリテーションプログラムを作成し、医師・看護師・介護職・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士など多職種が連携し、患者さんやご家族のニーズに併せた退院支援に取り組んでいます。

【2024 年度実績】

相談受け付け総数は 842 件で前年度比較（2023 年度 661 件）より 27%増となりました。疾患別にみると脳血管疾患 35.3%、頭部外傷 3.4%で、脳血管疾患は上位に脳梗塞、次いで脳出血が多くみられました。昨今では、高度な嚥下障害により口から食べられないケースとして胃瘻造設や高カロリー輸液を選択する症例が増えています。運動器疾患は 54.9%の入院比率の中、大腿骨骨折手術後患者が半数以上を占めております。また、肺炎又は手術後に伴う廃用症候群の相談件数は 2023 年度 4.7%から 2024 年度 4.2%と著変はありませんでした。年間の入院総数は 195 件であり上位に運動器疾患 120 名 61.5%、次いで脳血管疾患 69 名 35.4%おり、廃用症候群は 4 名 2.1%でした。退院総数は 198 件で内訳は、脳血管疾患が 72 名 36.4%、運動器疾患 118 名 59.6%、廃用症候群 6 名 3%でした。在院日数は脳血管障害が 75.1 日（2023 年度実績 76.3 日）、運動器疾患は 54.2 日（2023 年度実績 54.4 日）と著変はなく、廃用症候群は前年度平均 59.8 日から今年度は 84.0 日と延長し、重症度の高さが反映されています。退院先は、自宅 80.4%、老人保健施設 61.9%、特定施設（有料老人ホーム）5.5%、急性増悪による転院・転棟が 8.1%と倍に増え、また、自宅及び施設への退院困難者は 8 名おり、身寄りのない高齢者などの退院支援が今後の課題といえます

【施設基準】 回復期リハビリテーション病棟入院料 2 算定

脳血管疾患などリハビリテーション料（Ⅰ） 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

【職員構成】 専任医師 2 名 看護課長 1 名 看護主任 1 名 看護師 14.2 名

理学療法士 6.8 名 作業療法士 7 名 言語聴覚士 2 名 ソーシャルワーカー 2 名

介護福祉士 6.8 名 クラーク 2 名

(4) 4階 急性期病棟

急性期病棟では、主に外科、内科、泌尿器科、整形外科の疾患をお持ちの患者さんに対し、検査、手術を含めた入院加療が必要な医療・看護を提供しています。患者さんの早期回復を目指し、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、栄養士など、多職種の専門スタッフが密に連携し、質の高い医療・看護・介護の提供に努めています。平均在院日数 17 日と限られた入院期間ではありますが、入院時から患者さんが退院後の生活を見据えた療養を送れるよう、きめ細やかにサポートさせていただきます。継続的な治療やリハビリテーション、あるいは退院後の生活に向けた調整が必要な場合は、当院の回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟への転棟により、切れ目のない継続的な支援を行ってまいります。

当病棟では、予定入院と緊急入院のバランスを考慮したベッドコントロールを行い、可能な限り入院要請をお断りせず、患者さんを受け入れられるよう努めています。

また（更に）、2025 年 1 月には診療報酬上の区分を地域包括医療病棟へと転換いたしました。これにより、高齢者の適切な救急・急変対応だけでなく、地域で安心して生活を続けられるよう、地域包括ケアシステムの一助を担ってまいります。その為に必要な研修への参加を含め、個人および病棟全体で知識・技術の習得に取り組んでいます。

（５）５階 地域包括ケア病棟

52 床の地域包括ケア病棟です。特定の疾患や診療科、病状に限定されことなく入院が可能です。在宅療養中や施設からの入院、他の医療機関または当院急性期病棟での治療後、病状は安定したものの在宅復帰に不安のある方などの受け入れをしています。入院期間は最長で 60 日間です。

入院時より退院まで患者さん一人ひとりに担当看護師がつきます。また病棟には専従の理学療法士や専任の医療ソーシャルワーカーがいます。医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士や地域のケアマネジャーなど多職種と連携を図り、「患者さんやご家族がどのような生活を望まれているのか」「退院後の生活をどのようにイメージしているか」等を話し合いながら在宅復帰を目指して退院支援しています。

今年度は面会制限が緩和され、面会時間や人数の制限がある中でも、患者さんと面会者が直接会える機会が増えました。患者さんが安心して療養生活を送ることができ、退院支援もスムーズに出来ました。

在宅復帰率（直近 6 カ月平均）79.3%、平均在院日数 30 日、病床利用率は 86.8%でした。

（６）６階 療養病棟

療養病棟は 43 床の慢性期医療を支える病棟です。急性期の治療終了後も継続的な医療処置を必要とする患者さんが多く入院されています。その内容は気管切開や酸素吸入・痰の吸引・傷の処置・人工透析やインスリン注射など、多岐にわたります。そのために入院期間が長期に及ぶ患者さんも少なくありません。日常生活の援助や健康管理を行いながら身体機能の維持に努め、穏やかに過ごしていただけるよう、看護・介護職員が関わっています。

超高齢・多死の時代に入り、人生最期を過ごす場所として入院される患者さんも増えています。患者さんの尊厳を保ちながら、御家族の方と一緒に、穏やかで安らかな最期の時間を過ごすことができるように援助させていただきます。

病状が安定し、酸素吸入や痰の吸引などの医療処置が不要となった患者さんには、専任スタッフが退院後の生活のために介護保険サービスの調整や施設の選択など、患者さんにあった生活をしていただくためのお手伝いもさせていただきます。

また療養病棟では、在宅療養をしている地域の方たちの短期入院（ショートステイ）の受け入れを積極的に行っています。訪問看護ステーションや在宅診療科と連携し、介護されている御家族の支えとなり、住み慣れた家での生活が長く続けられるようにお手伝いをさせていただきます。

(7) 7階 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は16床全個室で主にがん患者さんが入院します。がん患者さんの中でも、がんに対する手術や抗がん剤投与などの積極的ながん治療ができなくなったり、患者さんやその家族がそのような治療を希望しなくなったりした場合、積極的な治療は行わず、症状緩和を目的とした治療やケアを専門的にこなす病棟です。がんによって生じる痛みなどのつらい症状や精神的な苦痛などの緩和を積極的に図ります。患者さんご家族の思いに寄り添い、安心して入院生活が送れるように手厚いケアを実践しています。症状が緩和され、在宅や施設などに退院される方もいます。そのような退院支援の介入件数も増加傾向にあります。

患者さん・ご家族から「湘南中央病院にきて本当によかった」というお声もたくさん頂いています。入院の判定会を経てご登録を頂き、入院の希望があったタイミングで可能な限り速やかに受け入れができるように日々ベッド調整しています。平均在院日数26日、平均入院待機日数4.5日でした。

(8) 外 来

健康に不安を抱え来院される患者さんと最初にお会いする私たち外来スタッフは、いつも笑顔のある暖かい外来看護を目指しています。同時に患者さんの身近な相談者や援助者として信頼していただけるよう自己研鑽に努めています。外来で行われる治療や検査、あるいは入院・手術の準備等々、様々な場面において、常に患者さんの立場に立ち、時には「その方にとって一番良い方法は何か」を患者さんと一緒に考え、その思いに添いながら行動できるようにしていきたいと考えています。

患者・家族に信頼される外来
患者さん・家族の立場に立って考える



職員が信頼し合える職場
職員間のコミュニケーションが良く働き易い職場

(9) 手術・中央材料室

当院では整形外科・外科・泌尿器科を中心に、年間を通じて数多くの手術を行っています。

2024年度は計693件の手術を実施し、緊急手術にも迅速かつ柔軟に対応しています。

特に整形外科手術においては、幅広い種類の手術器械を使用しており、医療技術は日々進化を続けています。手術室スタッフは、こうした技術の進歩に常に対応できるよう自己研鑽に努め、患者さまに安全かつ質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。

手術を受けられる患者さまの多くは、不安や緊張を抱えて手術室に入室されます。私たちは、そのような心理的負担を少しでも軽減できるよう、チーム医療を実践しています。執刀医、麻酔科医、看護師、診療放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師など、多職種スタッフが連携し、安全な手術の提供に取り組んでいます。

術前訪問では、手術や麻酔に対する不安や疑問に丁寧に耳を傾け、患者さまが安心して手術に臨んでいただけるよう、一人ひとりに寄り添った対応を心がけています。術後訪問では、麻酔や手術中の体位（ポジショニング）による影響の有無を確認し、術後の回復を支援します。こうした術前・術後の関わりを通して、患者さまとの信頼関係を築くことを大切にしています。手術を終え、安堵の表情で回復されていく患者さまの姿を見ることは、私たちスタッフにとって何よりの喜びであり、励みです。これからも進化し続ける医療に対応しつつ、安全対策と感染対策に万全を期し、患者さまの治療を全力で支えてまいります。

(10) 透析センター

当センターでは、通院患者さん、入院患者さんに対して、安全で安心な透析療法を行っています。

2024年度は、病棟での入院患者受け入れ制限などがあり、入院透析の患者さんの人数は伸び悩みましたが、新規の通院患者さんを4名ほど受け入れることができました。

部署目標は、『透析患者の確保と維持』『褥瘡管理への対策』『災害の対応準備』などをあげました。『透析患者の確保と維持』については、目標である透析件数年間6500件を達成できませんでした。外来患者数は横ばい、入院患者数は減少しましたが、転入希望の患者さんの受け入れは、病棟と連携し、タイムリーに対応することができました。『褥瘡管理への対策』では、以前より体位交換や除圧は行っていましたが、意識的に個別性のある褥瘡予防ができるよう、氏名と褥瘡部位を表にまとめました。一目で分かるため、効果的な介入ができていたと思われます。『災害の対応準備』では「伝言ダイヤル・伝言Web」の強化週間を設け、スタッフ・通院患者さん共に、実際に電話をかけたり、Webを活用したりと実践的な練習を行いました。実際に経験することで、改善点や反省点があり、より具体的な対応策へ繋がりました。

引き続き、感染防止に努め、快適な透析センターを目指します。また、他職種での連携を強化し、チーム一丸となって透析患者さんの治療をサポートをしていきたいと思っています。

(11) ボランティア室

2006年4月の緩和ケア病棟開設とともに病院ボランティアの活動が始まりました。病院ボランティアは患者と家族に寄り添いながら、ゆとり・潤い・やすらぎを届けるという役割を持って活動しています。病棟や外来で直接患者さんと接するボランティアと、縫物・写真の展示・車椅子の保守点検・庭の手入れなどの「特技ボランティア」と多岐に渡って活動しています。

2025年3月31日現在の登録人数は30名ほど、また10グループを超える演奏ボランティアの登録があり、緩和ケア病棟で開催されるピアノ、バイオリン等のミニコンサートは季節を感じる大切なイベントとなっています。

また、緩和ケア病棟ではティータイムや歌の会といった催しがあり、患者さんにとってはこちらも午後のひと時を穏やかに過ごしていただく時間となっています。

現在ボランティア活動は休止中となっていますが、季節の飾り付けはスタッフが継続して行っています。8月には夏祭り、12月にはクリスマスのイベントを開催し、クリスマスカードは在宅のボランティアさんが作成してくださり配布、クリスマスイベントの当日はスタッフのハンドベルとボランティアさんによるピアノ演奏で患者・家族に喜んでいただきました。

今後もどのように活動をしボランティアを再開していけるか考えているところです。

(12) 看護部教育担当

看護部教育担当は、以下を職務としています。

1. 看護部教育委員会および病院教育委員会主催の継続教育プログラムの企画・運営・評価
2. 看護研究活動のサポート
3. 看護師養成施設臨地実習受け入れと調整
4. 人材確保対策と定着支援
5. 看護基準書・手順書の監査・改訂
6. 感染制御チーム活動

I. 職員研修の企画・運営・評価

看護部以外の職員、委託業者についても安全・感染・倫理・接遇研修を資格や職務内容に合わせて研修を行っています。研修は職員が受講しやすいように動画視聴が主になりつつあります。数年前から身体拘束の低減に向けて看護部主任会を中心に身体拘束マニュアルの見直しを行ってきました。今年、改訂版が完成しました。改訂作業中に身体拘束の3原則に関する職員の理解が適切な身体拘束に繋がることをあらためて理解し、主任会が作成した3原則をテーマにした動画を全職員が倫理研修として視聴しました。

II. 看護職員の学習支援：クリニカルラダー改訂

当院のクリニカルラダーが標準的な看護実践能力の評価となるように、日本看護協会作成の看護師のクリニカルラダーや看護職の生涯学習ガイドラインなどを参考にした改訂版が完成しました。旧クリニカルラダーで課題となっていた箇所も可能な限り修正しました。

III. 看護補助者の業務と教育体制の再構築

看護補助者を対象とした業務手順書については曖昧になっていました。リリース業務も活発になってきているため、リリース業務や共通性のあるケアについては、『共通マニュアル』として移譲の範囲や対象者、手順、注意事項、報告内容などを記載した手順書を作成しました。次年度はこのマニュアルの中から、技術研修を予定しています。

IV. 感染制御チーム活動

4職種による週1回の病棟ラウンドや感染対策地域医療連携病院と感染状況や感染対策に関する定期的な情報交換や感染認定看護師に院内ラウンドを継続しています。ラウンド時の指摘事項でも、特に指摘回数が多いことはICTミーティングや感染対策委員会で周知を行うことで改善に繋がっています。

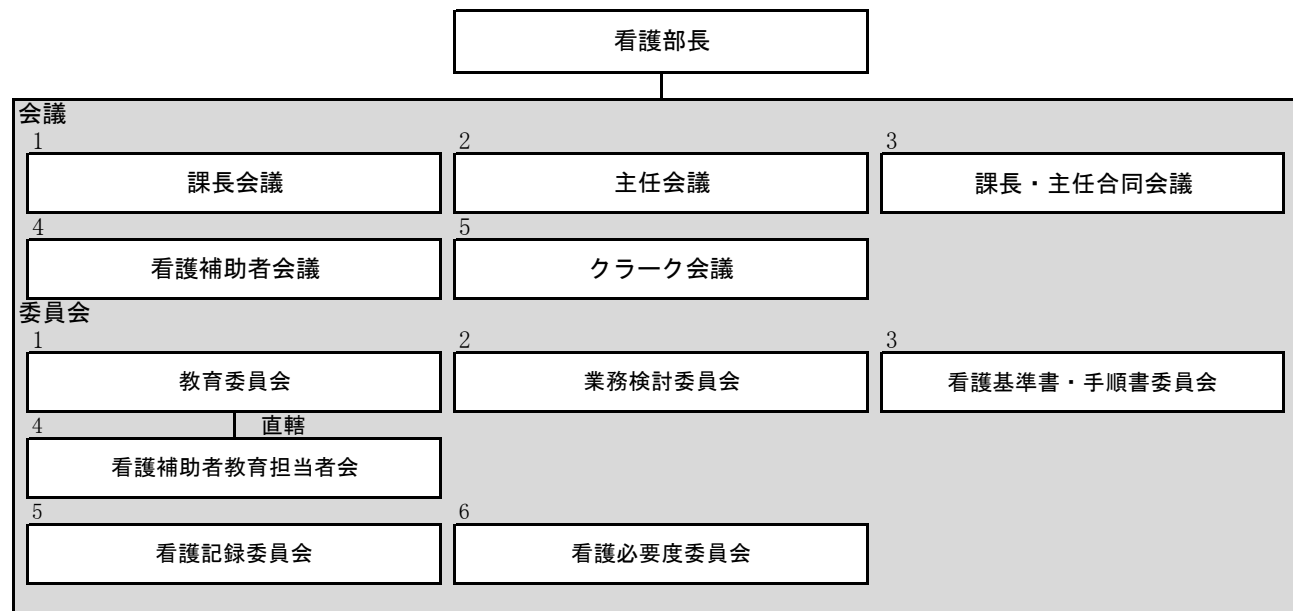
V. 看護師養成施設臨地実習受け入れと調整

臨地実習指導者は、実習病棟の看護師が行いますが、今年度は看護部の教育担当者も実習指導を療養病棟で行いました。当院の実習指導体制は部署責任者や指導者以外の看護職員も協力的であることを実感しました。当院の『つよみ』です。

Ⅵ. 身体拘束最適化に向けた活動

身体拘束の低減、最適化を目指した「身体拘束最適化チーム」の発足に向けて、組織体制やマニュアル作成などを体制づくりを行いました。

(13) 看護部主催会議・委員会



<看護研究発表会>

2024 年度は中止

新人看護師研修

<総合オリエンテーション>

月 日	内 容	担 当 者
4/1	法人・病院の方針	理事長
	人事考課制度	人事・広報課課長
	地域・ボランティア活動について	副院長兼看護部長 ボランティアコーディネーター
	防災について	外来課長
	職員の倫理綱領について	教育担当課長
	院内教育について	教育担当課長
	看護部オリエンテーション	副院長兼看護部長
	感染管理※	教育担当課長
	医療安全※	医療安全管理者兼副部長

※年度途中の入職者で、オリエンテーションを受けていない職員の参加あり

(14) 湘南わかばグループ・看護部 その他の実績

1. 院外の役員及び講師活動

- | | |
|-------------------------|------|
| ・神奈川県看護部長会湘南地区委員 | 春日慶子 |
| ・湘南ナース総合支援センター拡大委員会メンバー | 春日慶子 |
| ・神奈川県看護協会医療安全推進担当者メンバー | 内田敏江 |
| ・湘南ナース養成プログラム運営協議会役員 | 石井由紀 |
| ・神奈川県看護連盟施設連絡員 | 齋藤美樹 |

2. 登録

- | | |
|------------------|---------------------|
| ・神奈川県看護協会災害支援ナース | 恵崎香苗（外来）、蛭子典恵（療養病棟） |
|------------------|---------------------|

3. 実習受け入れ

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1) 湘南中央病院 | 湘南看護専門学校、神奈川県立衛生看護専門学校 |
| 2) わかば訪問看護ステーション | 慶應義塾大学看護医療学部、湘南看護専門学校 |

7 診療技術部

(1) 薬 局

当薬局ではすべての病棟に薬剤師を配置し、各病棟の特性に合った病棟業務を積極的に行っています。また、がん化学療法を行う個々の患者さんに担当薬剤師を配置しシームレスな指導を実施したり、在宅診療科や訪問看護ステーションと協力しながら、患者さん宅に訪問し薬剤指導なども行い、患者さんやそのご家族に寄り添った薬剤管理や指導を心がけています。

病棟での活動では、カンファレンスへの出席、回診の同行に加え、院内の ICT、NST、褥瘡回診チームなど、他職種との連携にも力を入れています。

また、地域の薬剤師との連携を目指し、研修会などを企画しながら顔の見える連携を目指しています。

患者さんや医師のニーズに合わせ、院内製剤として坐薬や外用剤などの作成や、高カロリー輸液や抗がん剤、在宅で使用する持続皮下注入器の薬剤などを無菌的に調剤して提供しています。

薬学実習生を受け入れ、未来の薬剤師の育成にも力を入れています。

当院では、薬剤師が医薬品安全管理者と共に医薬品の安全管理を推進しており、薬歴や服薬指導記録等を IT 管理するなど、安全かつ効率化を図りながら、安全な薬物治療を提供すべく、薬局一同、日々努力しています。

(2) 放射線課

放射線課スタッフは、放射線技師 6 名 (男性 3 名、女性 3 名)・看護師 1 名に加え、非常勤放射線科医 2 名 (交代勤務)・受付事務 2 名 (交代勤務) で日常業務を行っております。

業務内容は、外来や病棟部門の一般撮影・CT 検査・MRI 検査・透視造影検査・骨密度測定検査などを行っております。健康管理センターの業務としては藤沢市がん検診 (肺・乳房・胃) を行っております。

主な画像診断機器は、一般撮影装置 2 台・マンモグラフィ装置・MDCT(64ch) 装置・MRI(1.5T) 装置・X 線 TV 装置・ポータブル X 線撮影装置 2 台・骨密度測定装置・外科用透視装置 (手術室) が稼働しております。撮影した画像は医療用画像管理システム (PACS) を用いて院内配信をしております。

また、検査画像は院内読影に加え、外部の遠隔読影サービスも利用しており、読影結果を毎日配信しております。

2024 年度 放射線課・検査別件数

一般撮影	20152	マンモグラフィ	414
胃透視	157	CT	3127
DIP	53	MRI	1110
骨密度	440		

(3) 臨床工学課

1. 透析センター業務

透析センター内の医療機器の保守管理及び穿刺などの臨床業務を行います。

2. 手術室業務

麻酔器、患者監視装置、電気メスなどの医療機器の日常点検及び定期点検を行います。

また、内視鏡手術における機器の操作を行います。

3. ME センター業務

医療機器（薬液注入ポンプ等）の中央管理を行い、定期点検や人工呼吸器の運営を行います。

ME センター内における 2024 年度の保守点検件数はおよそ 1822 件、機器の貸し出し件数は年間 346 件前後です。

4. 外来内視鏡関連業務

内視鏡機器、ファイバースコープ等内視鏡関連の装置を管理しています。

(4) 臨床検査課

医師は病気の診断・治療を行ううえで、体内の必要な情報を得るために、血液・尿・細胞や心電図検査、超音波検査、呼吸機能検査などの検査を依頼します。

これらの検査を「臨床検査」といい国家試験に合格した「臨床検査技師」によって、正確・迅速に検査されます。

臨床検査課は大きく分けて「検体検査部門」、「生理検査部門」に分かれます。

「検体検査部門」は、血液検査、尿一般検査、輸血検査、感染症検査など患者さんから採取した血液・尿・便・体液を分析装置や顕微鏡、試験管などを使って検査を行っています。

また、新型コロナウイルス検査は精度の高い「抗原定量検査」および「リアルタイム PCR 検査」を行い、検査結果は依頼当日に報告しています。院外検査では、細菌検査や病理組織学的検査、細胞診検査を行っています。

「生理検査部門」は、超音波検査・心電図検査・呼吸機能検査・脳波検査・血圧脈波検査・24 時間ホルター心電図・24 時間血圧計検査など、直接患者さんに接する検査です。

検体検査では、毎日各分析装置の精度管理を行っています。

臨床検査結果は、直接・間接的に健康状態、病態を反映するため、業者による定期的な機器メンテナンス、内部精度管理の他、全国的な精度管理調査にも参加し、当検査課の分析装置の測定結果が正しいのか、超音波検査などの所見が正しいのか？など「外部（外部精度管理）」と比較しています。日々、臨床検査課のレベル向上に努めています。

(5) 内視鏡室

当院内視鏡室は、上部（食道・胃・十二指腸）内視鏡、下部（大腸）内視鏡、気管支鏡、嚥下機能評価等の通常検査のほか、ポリープ切除術、消化管止血術、拡張術、ステント留置術、胃瘻造設術などの内視鏡治療も行っています。

また、希望される時には経鼻内視鏡や鎮静剤、鎮痛剤を使用した検査を行っています。

内視鏡に関わる医師、看護師のほか、臨床工学課、健診センター、医事課、総務課スタッフと定期的な内視鏡連絡会議を開催し、情報の共有を図っています。

看護スタッフは、検査を受けられる患者さんの不安や緊張を軽減できるよう、援助するとともに、安全に検査、処置が行えるよう内視鏡機器の洗浄や、整備・点検の徹底、環境整備に日々取り組んでいます。

2024 年度 内視鏡件数

検 査 名	件数	経鼻（再掲）	生検件数
上部消化管	814	32	117
下部消化管	460	-	234
VE	14	-	
緊急検査（再掲）	20	-	
合 計	1288	32	351

2024 年度 内視鏡治療件数

治 療 名	胃・十二指腸	下部消化管	件数
止 血 術（硬化療法含）	9	3	12
ポリープ切除術	-	241	241
異物除去術	-	-	-
胃瘻造設術	7	-	7
胃瘻交換	31	-	31
その他 ブジー・ステント（胆・膵）・S状結腸整復	2	5	7
合 計	49	249	298

(6) リハビリテーションセンター

急性期から回復期のリハビリを中心に行なっています。

急性期は整形外科の手術後のリハビリが中心で、骨折、変形性関節症（人工関節置換術等）、靱帯損傷、腱損傷が主な疾患です。当院には手の専門医、脊柱の専門医（非常勤）が在籍しており、術後のリハビリも充実しています。

ポスト急性期として、回復期リハ病棟と地域包括ケア病棟があり、脳血管疾患、整形外科疾患の術後及び保存的加療、また様々な疾患後の廃用症候群等、幅広くリハビリ目的の転院の患者さんに対応しております。施設基準は、脳血管Ⅰ / 運動器Ⅰ / 廃用症候群Ⅰを満たしております。

リハビリスタッフは、理学療法士 16 名、作業療法士 8 名、言語聴覚士 3 名、助手 1 名が在籍しています。（2025 年 3 月 31 日）

回復期リハ病棟では通常の機能訓練や ADL 訓練以外に、退院後の生活を踏まえ、バスや電車の利用といった事も、入院中から訓練の中で実施しています。また、必要な方には、患者さん、ケアマネージャー、家屋改修業者と一緒に患者さん宅を訪問し、退院後、生活環境が原因で ADL が低下しないよう、必要な家屋改修等の提案をしています。

当院は、急性期およびポスト急性期の病棟がある事で、急性期から回復期、退院に至るまで継続したリハビリの提供を行っています。また退院後、通院リハビリが必要な患者さんには、軽快または症状固定、算定期限に至るまでリハビリを継続しています。

(7) 栄養管理室

栄養管理室では 5 名の管理栄養士が中心となり、給食管理業務と栄養管理業務を通じて、患者さんの栄養状態を支え、早期退院の実現を目指しています。

給食管理業務は、日清医療食品株式会社に委託しており、委託側の栄養士 3 名・調理師 3 名・調理補助者 20 名にて、1 日につき入院患者食 480 食、透析センター 5～10 食を提供しています。病院における給食は食事であると同時に治療の一環として医療の上でも重要な役割を担っています。医師の指示のもと、それぞれの病態に応じた適切な献立を作成し、「安心しておいしく食べていただける」食事作りを目指し、食事を通じて内面から健康をサポートします。また、行事に合わせた食事の提供により入院中でも季節を感じられるよう工夫をしております。

栄養管理業務では、入院患者さん一人一人に栄養管理計画書を作成し、栄養状態の維持や改善に向けた食事の検討や変更を行っています。栄養状態が不良の患者さんに対して補助食品をつけたり適切な食事の形態に調整をするなどの栄養治療にも取り組んでいます。患者さんにとって日常の食生活をそれぞれの病態にそった適切なものに改善し、習慣化するための知識や方法を習得することは治療効果をいっそう高めます。栄養相談では医師の指示に基づき実践可能なアドバイスをしていきます。入院・外来での栄養相談は、概ね 30 分から 60 分の予定で行います。これらの取り組みは患者さんが少しでも健康な生活を取り戻せることを目指し、日常生活の質の向上や自立した健康管理への手助けとなります。体の内外から健康を取り戻せるよう支援するだけでなく、日常生活の質の向上や自立した健康管理を実現するための一歩となります。栄養相談がきっかけとなり少しでも健康な生活を送っていただければと考えております。

8 健康管理センター

新型コロナウイルスによるパンデミックにより、2020年度より健康管理センターは縮小体制となりました。2022年度、2023年度は藤沢市のがん検診のみの受託となり、2024年度より縮小体制のままではありますが、藤沢市こくほ健診・後期高齢者等健診を再開することができました。数年間実施していなかったにも関わらず、当健康管理センターに戻って来ていただいた受診者様には、申し訳ない気持ちと感謝でいっぱいになりました。地域に根差した病院として地域住民の皆様の健康管理のお手伝いができるよう今後は受け入れを拡大していければと思っています。

このように、受け入れ体制としてはまだ十分ではありませんが、受診者様のニーズにあわせワクチン接種と乳がん検診に関しては24時間予約が取れるようにネット予約を開始し、少しずつ予約できるワクチンの種類を拡大しております。よりお気軽に健康管理センターをご利用いただけたら幸いです。

医 師	1名（水曜日・木曜日の午前中のみ担当）
課 長	1名（看護師）
看護師	1名＋季節スタッフ1名（9/19～11/28）
事務職	2名＋季節スタッフ2名（5/13～12/13 1名、5/28～10/30 1名）

2024年度 活動状況（件数）＊市健診を含む

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
460	43	452	620	632	645	913	1614	534	162	132	74	6281

（藤沢市がん検診・職員健診・予防接種、他）

2024年度 藤沢市成人検診実施件数

項目	実施人数
こくほ健診	213
後期高齢者等健診	231
肺がん検診	652
大腸がん検診	622
前立腺がん検診	208
胃がんリスク（ABC）検診	24
肝炎ウイルス検診	46
胃がん検診（バリウム）	142
（内視鏡）	220
乳がん検診（マンモグラフィ）	369

9 事務部

(1) 医事課

医事課は患者さんへのより良い対応、他部署との連携、保険診療の推進、診療報酬に基づく算定を目標に日々業務を行っています。

主な業務として次の6業務あります。

【業務内容】

- ① 外来業務
- ② 病棟業務
- ③ 保険請求業務
- ④ 診療録管理業務
- ⑤ 医業収入にかかわる届出業務（施設基準の届出、診療報酬加算）
- ⑥ 医事統計資料作成業務

(2) 総務課

総務課は、経理・財務、人事、総務、庶務、施設管理に関する業務を総勢7名で行っています。経理・財務は統括事務部長のもと月次決算資料等の経営管理資料を作成しています。また、毎月公認会計士（兼税理士）の会計・税務等の指導を受けながら、他部署と連携して効率的且つ適正な損益・財務管理の構築に努め、経営に役立つ資料作りに心掛けております。

労務・人事は社会保険労務士の指導の下、湘南わかばグループに所属する職員の入職・退職手続きや就業管理、人事考課関連業務、給与・税金計算、社会保険手続き、福利厚生、労働安全衛生等の業務を行っています。

総務・庶務面は外来医師担当表・医師当直表・担当医師の変更表等を院長の指示に基づき作成しています。また郵便物等の対外文書の収受、医学図書・事務用品の購入、医師・看護師等の白衣、職員ユニフォーム等の手配をしています。

施設管理面は院内環境整備と物品購買および施設維持管理業務（建物、ライフライン、消防・防犯設備、医療ガス、廃棄物等）、院内駐在業者（設備・清掃・リネン・警備・事務当直・SPD・売店）の管理を行っています。

その他、関連部署と連携して院内・委託先等との事務的な窓口として対応しています。

(3) 人事・広報課

人事・広報課は、法人職員の採用全般、広報、保育園管理などを行っております。法人の PR につながる関連業務を担当しています。

- ① 法人職員の採用業務
 - ・職員採用に関わる業務全般、HP 求人情報更新業務
- ② 広報業務
 - ・病院パンフレット等の印刷物の企画・制作
 - ・院内紙（湘南わかばグループニュース）の編集・発行（3 ヶ月毎）
- ③ 地域広報活動
 - ・院外紙（健康ニュース『わかば』）の編集・発行（季節発行：年 4 回）
- ④ 業者折衝（人材紹介会社、人材派遣会社、業務委託会社等）
 - ・人材受入れ、選考、面接、交渉業務、契約関連、請求、勤怠管理など

(4) 営業推進室

2024 年度の営業活動報告

- ①活動状況（情報交換、イベント打合せ、紹介依頼、広報営業等）
 - ・開業医・クリニック・地域病変への営業活動 : 29 件
 - ・医師紹介パンフレット配布
 - ・MRI/CT 検査の紹介営業：放射線科課長同行
 - ・緩和ケア紹介営業：緩和ケア担当医・地域連携室課長同行
 - ・湘南大庭市民センター、藤沢福祉協議会、他 6 施設の定期情報交換 3 回
 - ・地域自治会とのイベント（健康キャラバン・相談） 1 回実施

②無料循環バス運行実績（2024 年度）

ルート	乗車人数
湘南大庭	1,961 名
西部団地・駒寄	1,111 名
合 計	3,072 名

年間乗車数で 3,072 名の利用となりました。

利便性の向上を目指し運行して参ります。

今後とも無料循環バスの運行にご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

(5) IT推進室

医療情報システム、イントラネットの運営、ホームページによる患者・家族向け等情報発信、及び障害時の早期復旧を行います。

職員向け情報セキュリティ教育、情報漏洩対策等を実施します。

【業務内容】

- ・院内の情報処理システムの運用管理
- ・院内の情報通信ネットワークシステムの運用管理
- ・院内の情報機器のメンテナンスサポート
- ・ホームページの運営管理
- ・セキュリティ情報（リスク防止）の発信
- ・院内 IT 教育・支援

【今期実績】

- ・薬剤・調剤管理システム更新（2024/08 更改予定）
 - ・健診システム更新（2025/03 更改予定）
 - ・PACS システム更新（2025/01 更改予定）
- （待合表示システム更新（一部を含む））

【今後の推進案件】

- ・電子カルテ導入（2026/08 稼働予定）
（RIS（放射線情報）、透析、相談記録システム等導入、及び既存システム接続）
- ・ネットワークインフラ更新
- ・マイナンバー連携

など

10 診療支援部門

(1) 診療情報管理室

診療情報管理室は診療情報を体系的かつ一元的に管理し、有効に活用しています。入院患者に関しては世界保健機関の国際疾病分類（ICD－10）に基づいて病名等のコーディングを行い、DPC データ提出やがん登録に活かしています。また、診療録（カルテ）やレントゲンフィルム等を病歴室にて管理、必要に応じて院内貸出等を行っています。また人員体制は常勤の診療情報管理士 1 名、非常勤 4 名です。

＜主な業務内容＞

1. DPC 関連業務

DPC データ提出加算に係るデータの入力やエラー修正と提出までの統括業務を行う

2. がん登録

がん登録推進法に基づき全国がん登録に係る調査及びデータ入力・提出を行う

3. 診療記録の開示

①診療録（カルテ）の開示

②レントゲンフィルム、各種検査データ等の開示

4. 診療記録の管理及び貸出

入院診療録、外来診療録、レントゲンフィルム等を病歴室にて管理する。診療記録の貸出も適確に行う

5. 整形外科学会症例登録

日本整形外科学会の症例登録事業（JOANR）に参画し、整形外科の医師や手術室と連携を取りながら登録業務を執行する

（2）地域医療連携室 / 患者・家族相談室

地域医療連携室 / 患者・家族相談室は、現在責任者（社会福祉士）1 名、社会福祉士 3 名、看護師 2 名、事務員 1 名の計 7 名で対応しています。病院と病院の連携、病院と診療所の連携といった医療機関同士を繋ぐ役割と退院支援、福祉制度の案内といった病院と生活の間である地域を繋ぐ役割を担っています。どちらの面も地域で暮らす方々が、安心して切れ目のない診療、介護を受け、生活を送ることができるようにしていくための活動です。また、患者さんやご家族、関係機関からの苦情やご意見の窓口にもなっており、病院をより良く改善し、対策が行えるよう真摯にお話をうかがっています。伺いました内容は該当部署や上層部と協議し、対応しております。

2024 年度の活動件数は、延べ 9069 件あり、入院相談に関しては、延べ 2179 件対応しております。緩和ケア病棟、療養病棟と回復期リハビリテーション病棟については、相談を進めるに際し、合計 1369 件の判定会議を実施し、医師や看護師と協議しながら、入院調整を図っています。

医療機関ごとの機能分化が進んでいる中で、当部署としてはいかにスムーズに対応していくかを日々、検討しながら対応しております。社会生活の変容の中で、複数の生活課題をお持ちの患者さんが増えておりますが、その方がどのように生活したいと考えていらっしゃるのかという自己決定に寄り添ったお手伝いができるようお話を聞かせていただいております。制度の限界もあり全てが叶わないことも多い状況ですが、部署全体としても研修会などへ参加し患者さんへ偏らない情報がきちんと還元できるよう努めてまいります。

(3) 医療安全管理室

医療安全管理室の構成メンバーは診療部門、薬剤部門、看護部門、放射線技師、臨床工学技士、事務職員の6名が専任として活動しています。

2024 年度目標評価

①	目標 事故発生後に改善計画が立てられ再発防止に繋げる
	成果責任 1. 報告書をもとにラウンドの実施（原則毎週火曜日） 2. 医療安全管理委員会にて改善結果の報告ができる 3. インシデント・アクシデントレポートの内容確認
	評価方法 1. ラウンドの実施状況 業務改善計画の立案、実践評価 2. 改善結果内容の状況 3. 医療安全管理委員会での報告状況 4. インシデント・アクシデントレポートの報告件数・内容
	評価 報告内容についてヒヤリングにより、レポートでは不明確な部分や現場の状況を確認することができた。改善レポートや業務改善計画書をもとに各部署のラウンドを実施することで継続的な取り組みの確認ができた。転倒転落対策では、医療安全小委員会の活動や取り組み事例の紹介や共有に努めた。ヒヤリハット報告事例を積極的に共有することができた。
②	目標 医療安全小委員会活動推進
	成果責任 1. 医療安全小委員会での活動 ・患者誤認チームの活動推進 ・転倒転落チームの活動推進 ・報告件数の維持
	評価方法 1. 各チーム活動の進捗状況 2. インシデント・アクシデントレポートの報告件数・内容
	評価 患者誤認防止チームは、2022 年度に調査したダブルチェックの現状をもとに再度調査を行い、ダブルチェックに関するマニュアル作成に向けた取り組みを行った。転倒転落チームは、かわら版の発行や家族向けのパンフレットのアンケート実施に取り組んだ。報告件数は 今年度 1102 件（レベル 2 以下 93% 3 以上 7%） 昨年度 986 件（レベル 2 以下 75% 3 以上 25%） 積極的な報告を促すことで、結果的に報告数は増加したが、レベル 3 以上の割合は減少した。
③	目標 医療安全管理のための研修の実施
	成果責任 1. 医療安全小委員会が主体となった研修の開催 2. 研修の企画・実施・評価
	評価方法 1. 研修の開催状況 2. 研修参加状況
	評価 せん妄の理解と題して動画研修を実施した。医療職以外の職員は動画視聴により、せん妄が身近なものとして理解が深められた。受講率 98% 救急対応として、AED の演習を実施した。受講率 99%
④	目標 医療安全に関する地域連携の推進
	成果責任 医療安全地域加算 1 の施設の評価
	評価方法 1. 医療安全地域加算 1 の施設の評価内容 2. 改善項目に対する評価
	評価 自施設の評価をもとにした、第三者評価では大きな指摘事項はなかった。 配薬カートへの内服薬セットのヒヤリハット事例をもとに情報交換を行うことができた。

11 わかば保育園

【保育理念】

こども一人ひとりの心に寄り添う「あったかい保育」

【保育目標】

心身ともに明るく元気な子

思いやりの気持ちを持って行動できる子

いろいろなことに興味を持てる子

【保育方針】

発育段階を的確にとらえ、ひとりひとりの個性を大切に育てる

友達との関わりを通じて、やさしい気持ちを育む

やりたい、やろうとする気持ちを尊重し、環境作りに務める

保護者と連携し、共に成長を支え見守る

現在、園長（人事・広報課兼務）、保育士 4 名（常勤：3 名、非常勤：1 名）で保育業務を行っております。開所日は 365 日、利用時間は 7：45 から 18：00（延長 19：00 迄）、定員は 17 名で、生後 57 日目（0 歳）～小学校就学前を対象としており、利用は医師・看護職をはじめ、全職種の職員が利用できます。

職員の配置は〔0 歳児／ 1:3、1～2 歳児／ 1:6、3 歳児／ 1:20、4 歳以上 1:30〕児童福祉施設最低基準を基準としていますが、園児の状況に応じて保育者複数体制としております。

主に、認可保育園待機児童や幼稚園就園前児童、短時間勤務職員の園児などの常時保育と通常認可保育園に預けている園児の日祝祭日や年末年始利用の一時保育を行っております。

第 2 部

湘南わかばグループ 施設紹介

1 わかば訪問看護ステーション

わかば訪問看護ステーションでは「住み慣れたところで安心して暮らす・自分らしく生きることを支える」ため、訪問看護・リハビリを提供しています。職員構成は、看護師 8 名、理学療法士 2 名、作業療法士 1 名、事務 2 名です。ひと月あたりの平均利用者数は 106 名、平均訪問件数は看護 430 件 / 月・リハビリ 191 件 / 月でした。年間新規利用者数 62 名、相談件数 82 件でした。最長期間利用者は 28 年間の方です。利用者の主治医は、湘南中央病院が 62 % であり、外来通院、在宅診療科、当院退院直後の患者さんに多くご利用いただいています。その一方で、公立病院や大学病院、近隣の診療所などの様々な医療機関の医師からも指示を受け、訪問看護は「家と病院」「生活と医療」をつなぐ役割を担っています。

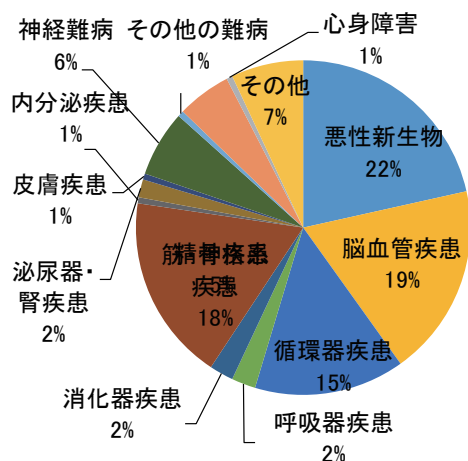
また、機能強化型訪問看護ステーションとして、常勤職員の確保・24 時間対応・人材育成の実習の受入・ターミナルケア等の体制やサービスの質の確保に努めております。

在宅でのお看取り（ターミナルケア）件数は 24 件〈内訳:がん末期や難病等の医療保険 19 件、老衰等の介護保険 5 件〉でした。また、最期の時を病院で迎えられた方は 16 件でした。その人らしい生き方が選択できるよう、今後も意思決定支援やご家族への支援に尽力していきたいと思ひます。

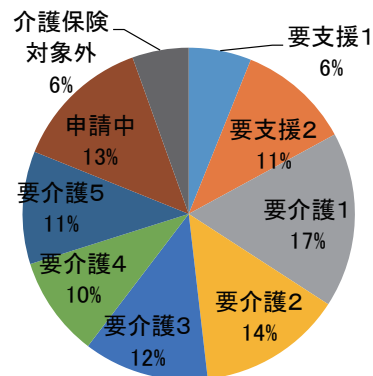
実習・研修に関しては、大学・看護学校学生実習や、地域の看護師の訪問看護同行研修、介護職員への略痰吸引等指導を受け入れました。今後も在宅療養の担い手の育成に貢献していきたいと思ひます。

これからも地域と共に歩み、ひとり一人に安心・安全をお届けできるよう努めて参ります。

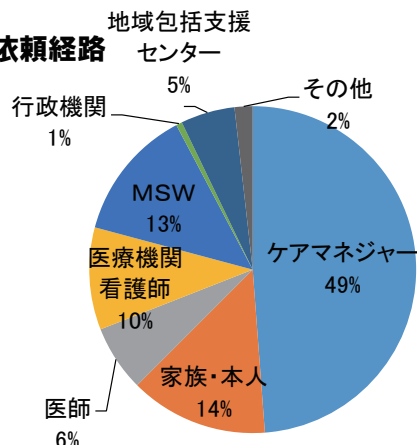
主疾患



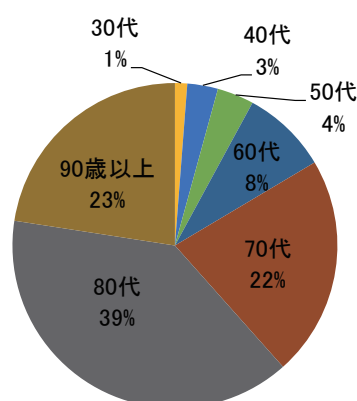
要介護度



依頼経路



年齢

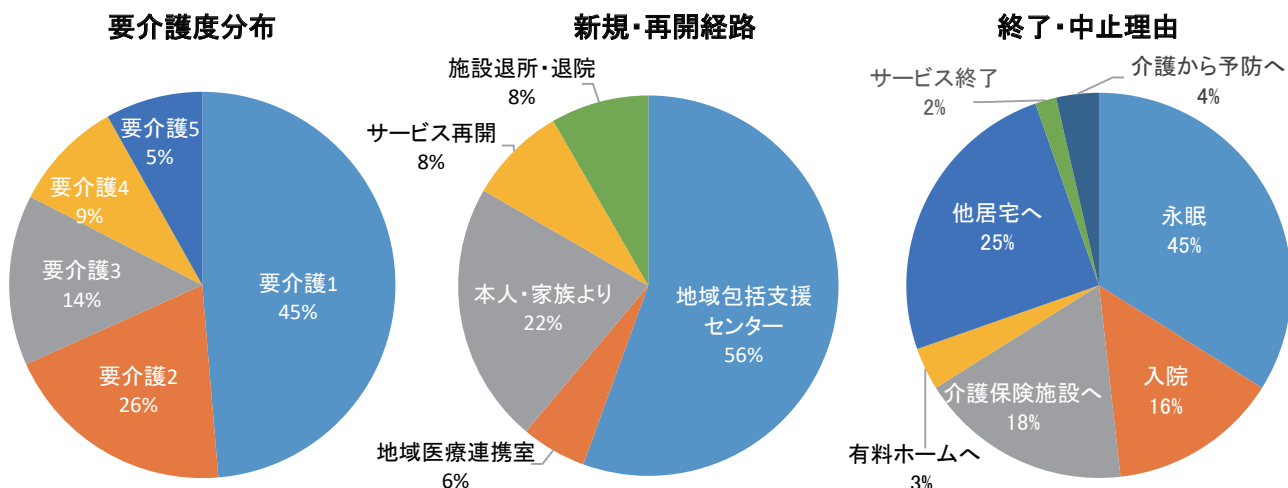
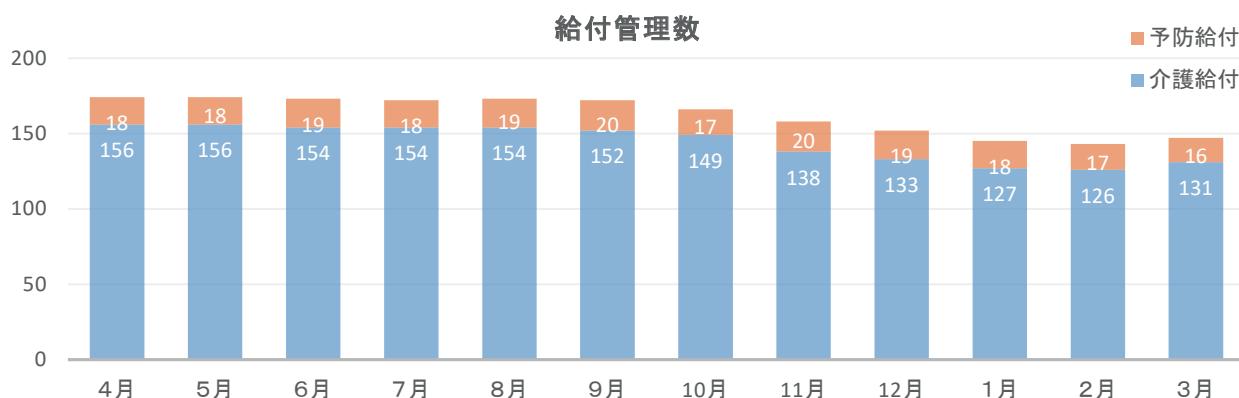


2 若林会居宅介護支援事業所

当法人では、2000年の介護保険制度施行と同時に「居宅介護支援事業所」を発足・運営しています。地域の要介護認定を受けた方からの相談を受け、2024年度は月平均介護給付144件、予防給付18件のケアプランを作成しています。

【事業所業務】

1. 2024年度の居宅サービス計画（ケアプラン）の作成件数は介護計画1730件、予防計画219件でした。
2. 少なくとも原則月1回利用者宅を訪問し、ご本人・ご家族と面接を行い、居宅サービス計画の実施状況の把握や体調の確認をしています。
3. 介護認定の更新時期や、ケアプランに変更があった時等、決められた時期にサービス担当者会議を開催し、各サービス事業所より専門的な見地から意見聴取し、ケアプランを開始します。
4. 介護保険認定更新時や変更申請の手続きを、ご本人・ご家族より依頼を受け住民票のある保険者へ代行申請します。
5. 介護保険要介護認定訪問調査（2024年度実績100件）を行い、調査票を作成し保険者に提出しました。
6. 24時間連絡体制を確保し、時間外や営業日以外にも利用者からの相談を受け付けられるような体制を整えています。
7. 自宅以外での暮らしを希望された際に、介護保険施設等の入所に関する調整や相談、情報提供を行い、スムーズに移行できるよう支援しています。
8. 地域包括支援センターや医療機関、保険者、各サービス事業所との連携を図り、必要な支援が迅速に提供できるよう努めています。



3 藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）

地域包括支援センターは、住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、様々な方面から高齢者の皆さんを支える機関です。藤沢市では、地区ごとの民生委員・児童委員協議会の担当地域の13地区を基本として、19カ所（高齢者人口の多い鵠沼・藤沢・辻堂・大庭・善行・六会地区には2カ所）に設置されています。

当法人では、藤沢市の委託を受けて運営しています。看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士の三職種がそれぞれの専門性を活かして互いに連携をしながら、チームとして総合的に対応しています。担当地区は、辻堂神台と城南・羽鳥・辻堂新町・大庭・稲荷の各一部です。2024年4月1日現在で明治地区の人口32,522人の内、高齢者人口は7,158人、高齢化率は22.01%です。藤沢市の高齢化率は24.58%なので、市内の平均以下ですが、それでも2040年には高齢化率が約33%となる見込みです。

介護が必要な状態でも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るように、藤沢市では「藤沢市型地域包括ケアシステム」の構築が重要とされ、多様な主体との協働による「地域のつながり」を重視した支えあいの地域づくりに向けた様々な取組が行われています。当包括でも地域に根差した活動を目指して、2024年度は計14カ所の公園での介護予防・健康増進の為に定期的な体操やサロンを開催したり、ケア会議の開催による地域課題について関係者との議論を深めたりする等、様々な活動を行なっています。

地域活動については、コロナ禍前の状態に戻りました。公園体操は感染予防・熱中症に配慮して行い、多くの参加がありました。

相談件数は年々増加傾向であり、虐待等の困難ケースや孤独死、8050問題、等多くの課題のあるケースを包括的・継続的に支援を行いました。また、給付件数は市内の居宅介護支援事業所の閉所、介護支援専門員の退職の影響から、委託ケースの減少がありました。

公園体操・・・・・・・・・・14カ所 約250回実施
地域団体等での挨拶、ミニ講話・・・・17回実施
定例会・・・・・・・・・・・・・12回実施

サロン活動・・・・・・・・・・・・・31回実施
地域会議等・・・・・・・・・・・・・36回実施
認知症サポート養成講座・・・・・・1回実施

相談内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	276	324	274	343	349	214	314	285	260	283	253	282	3457
来所	71	93	82	109	54	71	96	68	86	83	79	76	968
電話	857	860	888	950	877	776	934	817	911	918	745	807	10340
他	10	6	5	11	9	4	8	5	11	7	12	14	102

給付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
委託	90	90	87	88	88	86	86	84	84	80	79	74	1016
直営	264	268	262	258	263	260	265	257	250	250	252	251	3100

藤沢市明治いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）

藤沢市辻堂神台2-2-1 アイクロス湘南2階 営業時間 月～金 8:30～17:00

TEL 0466-35-2811 FAX 0466-35-2875 ※夜間等は転送電話で24時間対応します

4 介護老人保健施設 湘南わかば苑

施設長あいさつ

湘南わかば苑 施設長 呉 鐵仁

介護老人保健施設施設 湘南わかば苑は、2000 年介護保険法の施行に合わせて創立いたしました。今年で創立 25 年、四半世紀を経過いたしました。本年 2025 年は日本が直面している待ったなしの少子高齢化社会を象徴する年でもあります。介護が必要となった高齢者も最後まで住み慣れた地域で尊厳をもって暮らしていけるようにと、そのことに貢献してきた 25 年間であったと自負して良いと思います。

介護老人保健施設は本来、在宅復帰を目標とすべく設立されました。高齢者が病気治療のため入院し病気は治癒したものの、その間に ADL が低下したことですぐに在宅復帰が難しい場合に、老健へ入所しリハビリや生活支援によって回復に努め在宅復帰を果たす、といったケースを想定しています。ただ、現実には様々な事情で在宅復帰できないこともあるため、在宅復帰率や在宅療養支援指標を基準に老健は現在 5 段階に分類されています。以前は在宅強化型と通常型の 2 段階でしたが、平成 30 年からは超強化型・在宅強化型・加算型・基本型・その他となり、湘南わかば苑は加算型となっています。

25 年間着実に歩み続け、地域に信頼される施設となった湘南わかば苑ですが、今後の課題としては働き手の確保が挙げられます。少子高齢化社会ですので、高齢者が増えるのは勿論ですが働き手となる若者の減少も深刻な問題です。様々な方法を講じて働き手の確保にも努めて参りたいと考えています。

施設概要

- 開設 2000 年（平成 12 年）12 月
- 住所 藤沢市石川 591 番地
- 電話 0466-89-0551
- 建物 鉄筋 2 階建（延床面積：3982㎡）
- ベッド数 100 床（うち認知療養室 16 床）
- 通所リハビリテーション定員 20 名／日
- 職員数 82 名（2024 年 3 月末現在）
（内訳）



医師 3 名 / 薬剤師 1 名 / 看護師 10 名 / 介護職 41 名 / 理学・作業療法士 11 名 / 支援相談員 2 名 / 介護支援専門員 1 名 / 管理栄養士 1 名 / 事務員 6 名 / 運転手 6 名

湘南わかば苑 リハビリ室の活動

湘南わかば苑リハビリ室は、作業療法士 6 名、理学療法士 3 名、計 9 名のスタッフにて長期入所・短期入所・通所・訪問の利用者様に対して、リハビリテーションを実施しております。

2024 年度は、さらに多くの利用者様のニーズにお応え出来る様人員配置を、1.0 分拡大しエリアの拡大を図りました。スタッフ間で協力し営業を実施、代行・振替を積極的に行い、利用率 80% を維持、収益の拡大につなげました。

地域から頼られるリハビリ施設となるべく、家族介護者教室における講師依頼や、訪問型サービス C 事業、地域ケア会議等の藤沢市事業の受託・参画に積極的に取り組んでいます。

2025 年度には、専門職派遣講師の依頼も受けております。

	介護報酬算定項目	実施件数
訪問	訪問リハビリテーション	11341 回
	短期集中リハビリテーション加算	304 回
通所	短期集中リハビリテーション加算	222 回
短期入所	リハビリテーション実施加算	330 回
入所	短期集中リハビリテーション加算	2134 回
	認知症短期集中リハビリテーション加算	642 回
藤沢市事業受託	訪問型サービス C	28 件
	地域ケア会議	8 件
	家族介護者教室	* 3 件

*1 件 講師依頼

湘南わかば苑 栄養室

I. 方針

栄養室では『楽しい食事』をモットーに、美味しく個々に対応した喜ばれる食事を提供できるよう日々努力しています。嚥下困難な方へソフト食を導入し、より安全な食事提供にも力を入れています。

II. スタッフ体制

職員：管理栄養士 1 名 委託職員：栄養士 1 名・調理師 3 名・調理補助 10 名

III. 2024 年度実績

【加算実績】

	介護報酬算定項目	実施件数
入所	経口維持加算 I	496 件
	療養食加算	22778 食
通所	栄養スクリーニング加算	100 件

【食事提供数】

	入所	短期	通所	職員	合計
2024 年 4 月	8,008	94	361	426	8,889
5 月	8,435	89	343	441	9,308
6 月	8,084	99	327	436	8,946
7 月	8,284	76	365	472	9,197
8 月	8,471	64	327	455	9,317
9 月	8,057	58	315	434	8,864
10 月	8,672	70	378	477	9,597
11 月	8,336	96	333	477	9,242
12 月	8,537	79	352	498	9,466
2025 年 1 月	8,321	94	305	502	9,222
2 月	7,238	90	319	445	8,092
3 月	7,740	80	354	487	8,661
年間	98,183	989	4,079	5,550	108,801
前年比	△ 663	△ 797	△ 72	487	△ 1,045

2024 年度 年間行事

行事 月日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	備考
お誕生会	24日	29日	19日	31日	28日	25日	30日	20日	18日	29日	26日	26日	
お花見	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
夏祭り	-	-	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	
敬老会	-	-	-	-	-	14日	-	-	-	-	-	-	コロナウイルス感染防止のため、 イベントは中止 行事食として松花堂弁当を提供
クリスマス会	-	-	-	-	-	-	-	-	25日	-	-	-	
新年会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7日	-	-	各フロアにて小イベント実施へ変更
節分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29日	2日	-	職員が鬼となり 1/29 に豆まき実施 イベント食は 2/2 に提供。 通所も実施
端午の節句 ひな祭り	-	5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3日	
手作りおやつ	-	16日 17日	13日 14日	-	-	5日 12日	-	11日 15日	-	-	-	-	
調理レク	-	-	-	-	20日	-	-	-	-	-	-	12日	
喫茶	18日 19日	-	-	18日 19日	-	-	3日 10日	-	-	-	13日 14日	-	
郷土おやつ	17日 山口県	23日 滋賀県	21日 アイス	22日 埼玉県	20日 福岡県	18日 カップ ゼリー	24日 徳島県	18日 福井県	20日 鳥取県	23日 いちご	18日 沖縄県	19日 東京都	
消防訓練	-	-	26日	-	-	-	-	27日	-	-	-	-	
健康 フェスティバル	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
尚、季節の料理としておせち料理、七草、鏡開き、七夕、お月見団子・冬至など他多彩に計画されます。													
定例のレクリエーション 介護職員において、平日は毎日レクリエーションを実施 カレンダー作り 今年度は利用者さんと一緒に作る昼食として調理レクを 8月と 3月に実施 季節レクとしてスイカ割やかき氷、運動会を各フロアで実施 ボランティアさんによるレクリエーションは、新型コロナウイルスの発生状況をみながら実施しました ハーモニカ 日本舞踏 歌謡ショー サックス演奏会													

通所リハビリテーション利用者状況

① 年齢構成（2025 年 3 月末現在）（人）

	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	計
男性	0	1	2	8	10	4	25
女性	1	0	3	7	15	6	32
計	1	1	5	15	25	10	57
比率（％）	1.8	1.8	8.8	26.3	43.9	17.5	100.0

② 要介護度および日常生活自立度（2025 年 3 月末現在）（人）

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	比率（％）
自立	-	-	-	-	-	-	0	0.0
J1	-	-	1	-	-	-	1	1.8
J2	2	2	1	-	-	-	5	8.8
A1	4	9	7	5	2	1	28	49.1
A2	-	5	8	4	-	-	17	29.8
B1	-	1	1	2	-	-	4	7.0
B2	-	-	-	-	1	1	2	3.5
C1	-	-	-	-	-	-	0	0.0
C2	-	-	-	-	-	-	0	0.0
計	6	17	18	11	3	2	57	100.0
比率（％）	10.5	29.8	31.6	19.3	5.3	3.5	100.0	

③ 地域別利用者数（2025 年 3 月末現在）（人）

地域（住所名）	人数
大庭	13
石川	4
遠藤	3
善行	4
善行団地	6
善行坂	4
天神町	3
亀井野	3
湘南台	1
円行	1
みその台	1
稲荷	1
城南	2
羽鳥	1
藤沢	2
本藤沢	2
辻堂新町	3
辻堂	1
辻堂元町	1
鵠沼海岸	1
計	57

2024 年度の入退所者利用者状況

湘南わかば苑 支援相談室

入所経路	人数	比率	前年数
病院	48	80.00%	49
在宅	11	18.33%	13
老健	1	1.67%	3
有料ホーム	0	0.00%	0
その他	0	0.00%	0
計	60	100.00%	65

(老健：内訳)

施設名	人数	比率	前年数
ケアパーク湘南台	1	100.0%	0
サニーヒル山寺（山形県）	0	0.0%	1
ローズ（奈良県）	0	0.0%	1
藤沢ケアセンター	0	0.0%	1
計	1	100.0%	3

(在宅：内訳)

地名	人数	比率	前年数
鶴沼	2	18.2%	1
羽鳥	0	0.0%	1
辻堂太平台	0	0.0%	2
辻堂	1	9.1%	1
辻堂新町	1	9.1%	1
辻堂東海岸	1	9.1%	0
本藤沢	1	9.1%	1
鶴沼花沢町	1	9.1%	0
鶴沼松が丘	1	9.1%	0
石川	1	9.1%	0
遠藤	1	9.1%	0
本町	0	0.0%	1
大鋸	0	0.0%	1
善行団地	0	0.0%	1
大庭	0	0.0%	1
宮原	0	0.0%	1
市外	1	9.1%	0
計	11	100.0%	12

(病院：内訳)

病院名	人数	比率	前年数
湘南中央病院	20	41.7%	32
湘南慶育病院	9	18.8%	3
藤沢市民病院	5	10.4%	3
湘南藤沢徳洲会病院	5	10.4%	5
藤沢湘南台病院	3	6.3%	0
湘南大庭病院	1	2.1%	0
茅ヶ崎中央病院	1	2.1%	0
湘南ホスピタル	0	0.0%	2
湘南第一病院	0	0.0%	1
湘南太平台病院	0	0.0%	0
茅ヶ崎徳洲会病院	0	0.0%	1
横須賀市立病院	1	2.1%	0
武蔵台病院	1	2.1%	0
大船中央病院	1	2.1%	0
横浜市立病院	1	2.1%	0
その他	0	0.0%	2
計	48	100.0%	49

2024 年度の退所経路状況表

退所経路	人数	比率	前年数
病院	21	31.3%	19
特養	18	26.9%	18
在宅	13	19.4%	12
看取り	9	13.4%	7
有料ホーム	5	7.5%	13
老健	0	0.0%	3
その他	1	1.5%	0
計	67	100.0%	72

(特養：内訳)

施設名	人数	比率	前年数
かりん	5	27.8%	5
愛光園	3	16.7%	1
ラポール藤沢	2	11.1%	3
睦愛園	2	11.1%	0
藤沢特別養護老人ホーム	1	5.6%	1
芭蕉苑	1	5.6%	3
村岡ホーム	1	5.6%	0
汐見台バ・シフィクスステージ	1	5.6%	0
グリーンライフ湘南	1	5.6%	1
みどりの国	1	5.6%	1
藤沢富士白苑	0	0.0%	1
グランドヴィラ湘南台	0	0.0%	0
結の丘	0	0.0%	0
カメリア SST	0	0.0%	0
白鷺苑	0	0.0%	0
市外	0	0.0%	2
計	18	100.0%	18

(老健：内訳)

施設名	人数	比率	前年数
ケアパーク湘南台	0	—	1
ふれあいの桜	0	—	1
孝穂館	0	—	1
計	0	-	3

(在宅：内訳)

地名	人数	比率	前年数
鶴沼	2	15.4%	2
大庭	2	15.4%	2
辻堂	1	7.7%	2
鶴沼海岸	1	7.7%	0
石川	1	7.7%	1
遠藤	1	7.7%	0
天神町	1	7.7%	0
本藤沢	1	7.7%	0
大鋸	1	7.7%	1
羽鳥	0	0.0%	1
藤沢	0	0.0%	1
善行団地	0	0.0%	1
辻堂東海岸	0	0.0%	1
市外	2	15.4%	0
計	13	100.0%	12

(病院：内訳)

病院名	人数	比率	前年数
湘南中央病院	14	66.7%	13
藤沢市民病院	4	19.0%	3
湘南第一病院	2	9.5%	0
湘南大庭病院	1	4.8%	0
湘南藤沢徳洲会病院	0	0.0%	1
湘南鎌倉総合病院	0	0.0%	1
長岡病院	0	0.0%	1
計	21	100.0%	19

※（施設内での看取り）

性別	年齢	介護度	入所前の生活場所		永眠
女性	85	5	在宅		4月
男性	90	5	湘南中央病院・包括ケア		7月
女性	91	1	湘南慶育病院・包括ケア		7月
女性	101	4	湘南慶育病院・回復期		8月
女性	81	5	湘南中央病院・包括ケア		9月
女性	107	5	藤沢市民病院		12月
女性	85	3	在宅（小規模多機能）		12月
男性	83	5	藤沢病院・認知棟		1月
女性	84	4	湘南ホスピタル		2月
男性	女性	計	前年数	平均年齢	平均介護度
2	7	9	7	89.7	4.11

(有料ホーム：内訳) ※サービス付き高齢者住宅、グループホーム等

施設名	人数	比率	前年数
そんぼの家大和	1	20.0%	0
あやせ悠生苑	1	20.0%	0
なごやかレジデンス藤沢本町	1	20.0%	0
クロスハート石名坂（介護付）	1	20.0%	0
真心生楽館（住宅型）	1	20.0%	2
グラントン藤沢	0	0.0%	1
ココファンメゾン鶴沼	0	0.0%	1
ココファンメゾン大庭	0	0.0%	1
サライズ・ヴィラ藤沢六会（住宅型）	0	0.0%	1
クロスハート湘南台2番館	0	0.0%	2
ミモザ藤沢湘南台新館	0	0.0%	1
ケアパークヴィラ湘南	0	0.0%	1
メールブルー鶴沼	0	0.0%	1
なごやかレジデンス高座渋谷	0	0.0%	1
ふるさとホーム足利	0	0.0%	1
計	5	100.0%	13

(その他：内訳)

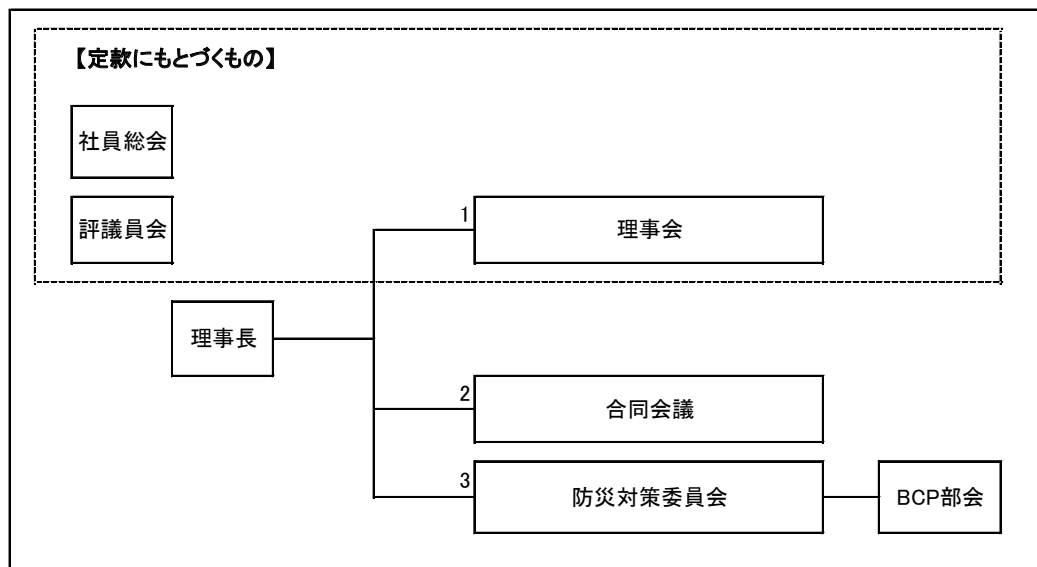
施設名	人数	比率	前年数
藤沢養護老人ホーム	1	100.00%	0
計	1	100.00%	0

第 3 部

法人活動

1 定例会議・委員会

(I) 医療法人全体



(II) 湘南中央病院



その他

責任者会議(自主的)

2 研究実践実績

学会発表

表 題	発表者名	年月日	学会名
指の基節骨基部骨折に対する intrafocal pinning 法	池田全良、中島大輔、 小林由香、齋藤育雄、 吉田進二、石井崇之	2024/4/25- 4/26	第 67 回日本手外科学会
舟状骨偽関節に対する掌側プレート固定の 実用性	小林由香、吉田進二、 石井崇之、中島大輔、 齋藤育雄、池田全良、 渡辺雅彦	2024/05/23- 2024/05/26	第 97 回日本整形外科学会学術総 会
院内製剤の坐薬を調製する～調整・手続き と課題～（シンポジウム）院内製剤オラン ザピン坐剤の調製と緩和ケア領域における 有用性	櫛引智子	2024 年 5 月 25 日	第 17 回日本緩和医療薬学会年会
小児の基節骨基部骨端線損傷に対する intrafocal pinning 法	池田全良、中島大輔、 小林由香、齋藤育雄、 吉田進二	2024/06/28- 06/29	第 50 回日本骨折治療学会
豆状三角骨変形性関節症に起因した小指屈 筋腱皮下断裂	池田全良、中島大輔、 小林由香、齋藤育雄	2024/10/05	第 30 回神奈川上肢研究会
がん終末期の悪心嘔吐、せん妄における院 内製剤オランザピン坐剤の有用性の検討	櫛引智子、大久保満、 宮澤正幸、萬谷摩美子、 福岡幸治、片町守男	2024 年 10 月 6 日	第 6 回関東甲信越支部学術大会 （日本緩和医療学会）
ホスピス緩和ケア協会関東甲信越支部薬剤 師交流会（メーリングリスト）の立ち上げ と活動について	萬谷摩美子、山崎朋子、 柴田海斗、小林勝利、 山辺健仁、櫛引智子、 高波正信、山田祐司	2024 年 10 月 6 日	第 6 回関東甲信越支部学術大会 （日本緩和医療学会）
当院のヘルニア根治術におけるクーゲル法 の実際	松崎博行	2024 年 12 月 14 日	神奈川県ヘルニア研究会
豆状三角骨変形性関節症に起因した小指屈 筋腱皮下断裂	池田全良、中島大輔、 小林由香、齋藤育雄	2025/02/22	第 39 回東日本手外科研究会
75 歳以上の高齢者の肘頭骨折の治療	小林由香、中島大輔、 吉田進二、齋藤育雄、 池田全良、渡辺雅彦	2025/02/22	第 39 回東日本手外科研究会
肘頭骨折に対する tension band wiring 法 と locking plate 固定術の有効性の比較	小林由香、吉田進二、 中島大輔、齋藤育雄、 池田全良、渡辺雅彦	2025/3/14- 3/15	第 37 回日本肘関節学会
肘部管症候群をきたした石灰化のない滑膜 骨軟骨腫症の 1 例	池田全良、小林由香、 中島大輔、齋藤育雄、 吉田進二、石井崇之	2025/3/14- 3/15	第 37 回日本肘関節学会

学術誌・報告書等収録

表 題	発表者名	年月日	学術雑誌名
Operative treatment of neglected painful costal cartilage nonunion in a karate player.	Masayoshi Ikeda, Daisuke Nakajima, Yuka Kobayashi, Ikuo Saito	2024.12.02	JOS Case Reports. https://doi.org/10.1016/j.joscr
上腕骨遠位端の病的骨折を来した上腕骨骨 幹部および肘周囲の多発性骨嚢腫の手術経 験：症例報告.	池田全良、小林由香、 齋藤育雄、中島大輔、 石井崇之、吉田進二	2024	日本肘関節学会雑誌. 31(2): 279- 283
指の基節骨基部骨折に対する intrafocal pinning 法.	石井崇之、吉田進二、 渡辺雅彦、中島大輔、 小林由香、齋藤育雄、 池田全良	2024	神奈川医学会雑誌. 2024/1; 51(1): 85
Synovial Chondromatosis of Distal Radioulnar Joint with Osteoarthropathic Changes.	Daisuke Nakajima, Masayoshi Ikeda, Yuka Kobayash, Ikuo Saito	2024	J Wrist Surg 202414(1): 87-92. DOI: 10.1055/s-0044-1779625

5 湘南わかばグループ年間行事（2024 年度）

2024 年

4 月 1 日（月）入社式 / 総合オリエンテーション
 5 月 18 日（土）社員総会
 5 月 24 日（金）春季消防訓練
 5 月 25 日（土）評議員会
 10 月 25 日（金）秋季防災訓練

2025 年

1 月 7 日（火）湘南わかば苑 第 22 回新年会
 3 月 22 日（土）社員総会
 3 月 29 日（土）評議員会

6 湘南わかばグループの地域活動

民協	12 回（毎月第 1 水曜日）
二ツ家公園体操サロン	10 回（毎月最終火曜日）
おしゃべりサロン	12 回（毎月 3 or 第 4 火曜日）
明治地区郷土づくり推進会議	12 回（毎月第 2 火曜日）
明治地区郷土づくり主催 健康講座	1 回（2025/2/20）
芝の会	12 回（毎月第 3 土曜日）
明治地区福祉推進会議	4 回（2024/5/31、9/13、12/12、2025/3/14）
福祉推進会議主催映画会	1 回（2024/11/22）
福祉推進会議講演会	1 回（2025/2/21）
明治地区ふるさと祭り	2 回（2024/10/26・27）
明治地区賀詞交歓会	1 回（2025/1/11）
明治地区福祉窓口情報交換会	4 回（2024/6/21、9/20、12/20、2025/3/21）
サテライト城南運営推進会議	6 回（2024/5/27、7/29、9/23、11/26、2025/1/27、3/21）
つちさんち運営推進会議	1 回（2025/3/28）
葡萄畑運営推進会議	2 回（2024/5/25、11/16）
桜庵運営推進会議	2 回（2024/7/16、9/17）
明治地区介護者の集い	2 回（2024/12/13、2025/3/1）
明治地区防災訓練	1 回（2025/3/9）
アイクロス湘南消防訓練	1 回（2025/3/11）
特定事業所加算事例検討会	4 回（2024/7/9、10/8、10/15、12/10）
地区社協主催 お楽しみ会	2 回（2024/11/15、2025/3/7）
明治地区地域ケア会議	2 回（2024/9/12、2025/3/13）
なまずクラブ講演会	1 回（2024/11/21）
かるがもにて包括事業説明	1 回（2024/5/20）
ケアマネサロン	3 回（2024/6/27、7/26、8/23）
明治地区老人会総会	1 回（2024/4/12）
ラポール城南 稲荷 円卓会議	1 回（2024/7/20）
湘南病院連携協議会 つながるネット検討会	1 回（2024/9/12）
地域包括支援センター初任者研修 ファシリテーター	2 回（2024/10/1・15）
お薬街角相談会	1 回（2024/12/9）
明治地区社協福祉講演会 「高齢者の孤独と孤立について考える」	1 回（2025/3/16）
特定非営利活動法人藤沢相談支援 ネットワーク理事会	2 回（2024/6/21、2025/3/6）
駅前ハイツ認知症サポーター養成講座	1 回（2024/6/27）

7 施設案内

1. 湘南中央病院（開設 1955年2月1日）

所在地 〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥 1-3-43

電話 0466-36-8151

FAX 0466-35-2886

URL <https://www.swg.or.jp>

施設の面積

敷地の面積 7,095.89㎡ (2,146.5 坪)

建築延面積 11,324.52㎡ (3,425.7 坪)

敷地内駐車場 62 台

駐輪場 60 台

病床数 199 床

◆急性期病棟 52 床

◆地域包括ケア病棟 52 床

◆回復期リハビリ病棟 36 床

◆緩和ケア病棟 16 床

◆療養病棟 43 床

その他機能

透析センター・・・・・・・・・・35 床

在宅診療・・・・・・訪問診療、往診

健康管理センター・・藤沢市特定・後期高齢者健診、
藤沢市がん検診、特定保健指導、
ワクチン接種、禁煙外来

標榜科目

内科 消化器内科 消化器外科 外科 整形外科

皮膚科 肛門外科 リハビリテーション科 呼吸器内科

神経内科 循環器内科 放射線科 心療内科

泌尿器科 緩和ケア内科 精神科 腎臓内科（人工透析）

糖尿病内科 内分泌内科

2025 年 6 月 1 日現在

2. 介護老人保健施設 湘南わかば苑（開設 2000年12月1日）

事業所番号 神奈川県 1452280022

所在地 〒252-0815 神奈川県藤沢市石川591

電話 0466-89-0551

FAX 0466-89-0501

URL <https://www.swg.or.jp/wakabaen/>

施設概要

療養室 34 室（4 人部屋 20 室、2 人部屋 6 室、個室 8 室）

機能訓練室、食堂、レクリエーションルーム、デイルーム、

家族介護教室、談話コーナー、診察室、介護相談室、一般介護浴室、

特別介護浴室、理・美容室、ボランティアルーム他

建物 鉄筋コンクリート2階造

延床面積 3,982㎡ 入所定員 100名 通所定員 20名

3. わかば訪問看護ステーション（開設 1994年1月1日）

事業所番号 神奈川県 1462290005

所在地 〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥1-3-43

電話 0466-35-5732

FAX 0466-35-1811

URL <https://www.swg.or.jp/wakabagroup/wgstation/>

4. 若林会居宅介護支援事業所（開設 2000年4月1日）

事業所番号 神奈川県 1472200011

所在地 〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥1-3-43

電話 0466-33-2916 0466-35-5768

FAX 0466-35-5752

URL <https://www.swg.or.jp/wakabagroup/wgcaresupport/>

5. 藤沢市明治いきいきサポートセンター（開設 2006年4月1日）

（地域包括支援センター）

事業所番号 神奈川県 1402200057

所在地 〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-1（アイクロス湘南2階）

電話 0466-35-2811

FAX 0466-35-2875

URL <https://www.swg.or.jp/wakabagroup/wgikiiki/>

施設案内地図



湘南中央病院

辻堂駅より徒歩 8 分 シャトルバス運行中（祝祭日運休）

JR 辻堂駅北口：湘南ライフタウン・慶応大学・湘南台駅・茅ヶ崎駅・「羽鳥 1 丁目」下車

駐車場 62 台 駐輪場 60 台

湘南わかば苑

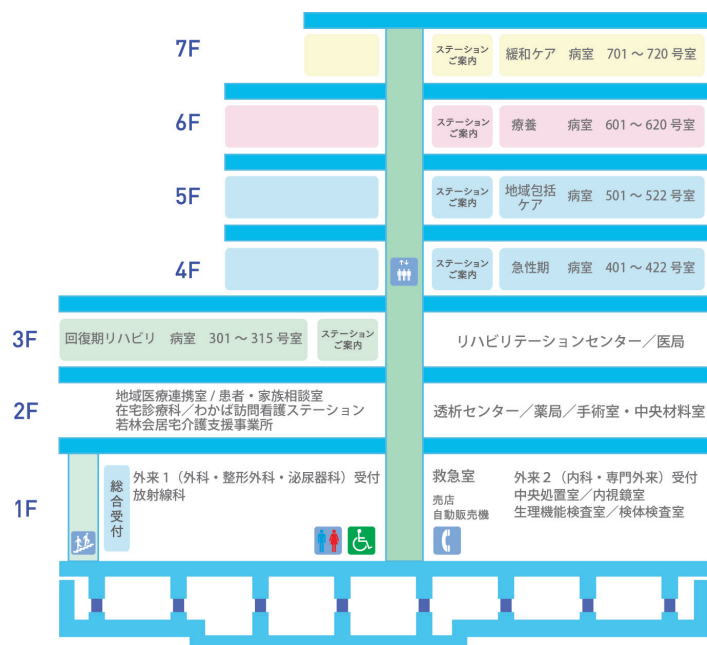
JR 辻堂駅北口：湘南ライフタウン・慶応大学・湘南台駅・茅ヶ崎駅・「二番構保健医療センター」下車

JR 藤沢駅：湘南台駅西口行き「五反田」下車

小田急湘南台駅西口：辻堂駅北口行き「二番構保健医療センター」下車

小田急湘南台駅西口：辻堂駅北口行き「五反田」下車

湘南中央病院 各階案内



■建物・構造 直接基礎 鉄筋コンクリート造 免震構造 地上 7 階 塔屋 1 階

委員長	副院長
委員	外科部長 兼 診療部長
	内科部長
	泌尿器科医長
	急性期病棟課長
	地域包括ケア病棟課長
	回復期リハビリ病棟課長
	療養病棟課長
	緩和ケア病棟課長
	透析センター課長
	外来課長
	薬局課長
	臨床検査課課長
	リハビリテーションセンター 主任
	栄養管理室主任
	統括事務部長
	健康管理センター課長
	訪問看護ステーション所長
	湘南わかば苑 介護課長
事務局	人事・広報課長（わかば保育園 園長）
	総務課主任

湘南わかばグループ年報 第25号（2024年度版）

発行 2025年10月1日発行

発行者 呉 鐵仁

発行所 湘南わかばグループ （特定医療法人社団若林会）